

■ 著者

水内 俊雄 大阪市立大学教授
野間 敏克 同志社大学教授
藤井 譲治 京都大学名誉教授

秋山 雅文 京都教育大学附属桃山中学校教諭
浅川 俊夫 東北福祉大学准教授
五百旗頭 真 兵庫県立大学理事長
ひょうご震災記念 21 世紀研究機構理事長

池野 範男 日本体育大学教授
井田 仁康 筑波大学教授
市川 則文 三重大学大学院特任教授
一ノ瀬 俊明 国立環境研究所上席研究員

伊藤 直之 名古屋大学大学院教授
井上 満郎 京都市歴史資料館館長

岩崎 奈緒子 京都大学総合博物館教授
大岡 聡 日本大学教授
大西 宏治 富山大学教授
大庭 邦彦 聖徳大学教授
奥山 研司 花園大学特任教授
角田 将士 立命館大学准教授
川北 稔 大阪大学名誉教授
金田 章裕 京都府立京都学・歴史館館長

熊田 禎介 宇都宮大学准教授
栗栖 薫子 神戸大学大学院教授
黒崎 至高 前橋市立鎌倉中学校教諭

桑原 敏典 岡山大学大学院教授
小長谷 有紀 日本学術振興会監事
国立民族学博物館客員教授

米家 泰作 京都大学大学院准教授
指 昭博 神戸市外国語大学学長
佐藤 幸治 京都大学名誉教授

佐藤 廉也 大阪大学大学院教授
杉山 勉 京都橘中学校・高等学校中学校元教頭
周藤 芳幸 名古屋大学大学院教授
曾我 謙悟 京都大学大学院教授
高岡 裕之 関西学院大学教授
田口 紘子 鹿児島大学准教授
棚橋 健治 東海大学副学長
辻中 豊 筑波大学名誉教授

中尾 敏朗 群馬大学教授
永田 成文 三重大学教授
西田 直記 京都教育大学附属京都小中学校教諭
橋本 康弘 福井大学教授
樋口 雅夫 玉川大学教授
二川 正浩 東京家政大学准教授
二村 太郎 同志社大学准教授
松田 聡子 桃山学院大学教授
松本 哲治 同志社大学大学院教授
三枝 暁子 京都教育大学名誉教授
水山 光春 京都橘大学教授

宮口 侗迪 早稲田大学名誉教授
村山 良之 山形大学大学院教授
森 実 大阪教育大学教授
谷田部 玲生 桐蔭横浜大学教授
山口 泰宏 筑波大学附属中学校教諭
山田 晴通 東京経済大学教授
山根 拓 富山大学教授
吉川 真司 京都大学大学院教授
吉田 道代 和歌山大学大学院教授
日本文教出版株式会社ほか1名

防災・安全教育に関する校閲

片田 敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授
河田 恵昭 関西大学特別任命教授

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲

大内 進 国立特別支援教育総合研究所名誉所員・特任研究員

道徳教育に関する校閲

島 恒生 畿央大学大学院教授

■ 執筆協力

宇田川 妙子 国立民族学博物館教授
菊澤 律子 国立民族学博物館准教授
岸上 伸啓 人間文化研究機構理事
庄司 博史 国立民族学博物館名誉教授
信田 敏宏 国立民族学博物館教授
山本 紀夫 国立民族学博物館名誉教授

日文ウェブサイトのご案内

弊社ウェブサイトでは、新版教科書に関する情報や、日々の指導に役立つ資料などを発信しています。

https://www.nichibun-g.co.jp/r3textbooks/c-shakai_chi/

掲載内容

- 内容解説資料
- 内容解説動画
- 教科書検討の観点からみた特色
- 編修趣意書
- 社会科機関誌「社会科NAVI」ほか

新しい資料も
随時アップします。



※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

教科書QRコンテンツは、下記URLまたはQRコードからご覧いただけます。詳しくは本書P.30-31をご覧ください。

https://www.nichibun-g.co.jp/2021dc/csha_chi/



この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

令和3年(2021年)度版 中学校社会科 内容解説資料

| | |
|--------|-----------|
| 116 | 教科書 記号・番号 |
| 日文 | |
| 地理 704 | |

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD22202

日本文教出版 株式会社
<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

令和3年度版 中学社会 地理的分野
内容解説資料



本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日文の教科書情報

詳しくはWebへ!

日文 検索



未来をにう子どもたちへ
日本文教出版

目次

個性豊かなキャラクター達が、生徒とともに学習に取り組むことで、主体的な学びを促します。



はると なつみ あきら ゆき

編集 基本方針

4

基本方針1 質の高い学びや授業を保障する

- まず地理の面白さを感じることから
地理的な見方・考え方を働かせる工夫 6
- 何を学び、どう深めるか
授業や生徒の思考の流れに沿った構成 8

基本方針2 生徒自らが学びに動き出す

- テーマを通して「知る・考える」
世界や日本の諸事象の学習を見通せる構成 10
- もっと知りたく、考えたいくなる
主体的・対話的で深い学びの実現 14
- 地理のスキルがどんどん身に付く
詳しい解説と実践的な問い 16
- 地域的特色の理解がどんどん深まる
多様なコーナーが支える学習 17

基本方針3 学びを日々の生活や社会に活かす

- 地域調査学習からまちづくり会議へ
体系的な日本地理学習 18
- 知識だけではない災害・防災教育を
豊富な事例と実践的な学び 20

ポイント

22

ポイント1 地理を楽しく確実に学ぶ 24

ポイント2 学習を支える教科書QRコンテンツ 30

ポイント3 学習上配慮した点 32

ポイント4 分野をこえた連携 34

ポイント5 教科書で取り上げた主な地域事例 36

- 教科書検討の観点からみた特色 38
- 学習指導要領との対照表・配当授業時数 42
- 観点別教材一覧 43
- 教師用指導書のご案内 44
- デジタル教科書・教材のご案内 46

地理

編集 基本方針

「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念とし、
 18歳選挙権をみすえて、
 生徒が「社会的な見方・考え方」を働かせた学習を通して
 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、
 新しい時代の国家・社会の形成者として必要な
 「公民としての資質・能力の基礎」を育成することを願ひ、
 本教科書を編集しました。

基本方針

1

質の高い 学びや授業を 保証する

確実な知識・技能の定着



基本方針

3

学びを 日々の生活や 社会に活かす

学びに向かう力・
人間性等を養う



基本方針

2

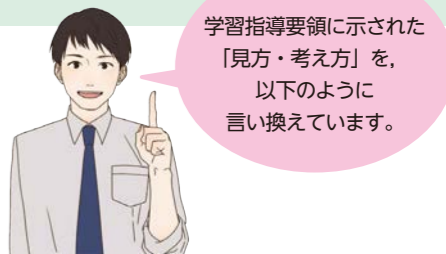
生徒自らが 学びに 動き出す

主体的・対話的で
深い学びを通じた
思考力・判断力・表現力等の育成

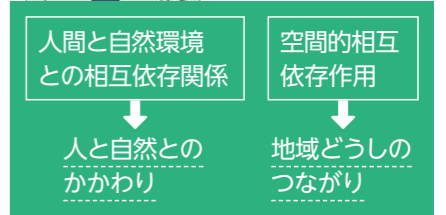


まず地理の面白さを感じることから 地理的な見方・考え方を働かせる工夫

教科書の冒頭で、生徒に身近な「いちご」にスポットを当てながら、農村地域と都市地域の自然環境・人文環境をイラストで表現しました。このイラストを、**1**位置や分布、**2**場所、**3**人と自然とのかわり、**4**地域どうしのつながり、**5**地域という五つの「地理的な見方・考え方」を通して読み取っていきます。親しみやすいイラストを通して「見方・考え方」を捉えることで、本文ページの各見開きで「見方・考え方」を働かせながら学習を進めることができます。



学習指導要領に示された「見方・考え方」を、以下のように言い換えています。



下の問いを考えるためのヒント

それぞれの「見方・考え方」を働かせて考える問い

様々な地理的事象を盛り込んだ、見れば見るほど楽しいイラスト

五つの「見方・考え方」の概念についての解説

巻頭口絵 (地理的な見方・考え方の解説)

新学習指導要領で示された、五つの「地理的な見方・考え方」について分かりやすく解説しています。

見開き下部にある**1**～**5**の五つの「地理的な見方・考え方」の解説をもとに、イラストを見ながら問いの答えを考えることで、自然に「地理的な見方・考え方」を捉えることができます。



本文ページの各見開き

五つの「地理的な見方・考え方」のうち一つを提示しています。各見開きでは、学習課題とともに提示しているそれぞれの「地理的な見方・考え方」にもとづいて、本文を記述し、図版を掲載しています。

注目!
各見開きの学習の際に「地理的な見方・考え方」を繰り返して意識することで、生徒が「見方・考え方」を自ら働かせることができるようになります。



位置や分布 を提示した見開き ↓P8

4 緯度と経度のしくみをとらえよう

緯度・経度のしくみ 地球儀にはたくさんの線が規則的に引かれています。赤道と平行に引かれた横の線を緯線、北極点と南極点を結んだ縦の線を経線とよびます。緯線から、地球上のある地点の南北の位置をあらわす緯度がわかります。経線から、地球上のある地点の東西の位置をあらわす経度がわかります。緯度は、赤道を0度として、北緯と南緯に分けられています。北緯と南緯はそれぞれ90度まであります。赤道の北側を北半球、南側を南半球とよびます。経度は、ロンドンの郊外にあるグリニッジを(イギリス)

人と自然とのかわり を提示した見開き ↓P102

3 世界規模の環境問題と改善に向けた取り組み

大規模で急速な開発による環境問題 南アメリカの環境問題のなかでも、熱帯雨林の伐採は、地球全体に大きな影響をおよぼす問題です。アマゾン川流域の熱帯雨林は、地球温暖化の原因の一つとなる二酸化炭素を大量に吸収しています。また、熱帯雨林は地球上で動植物の種類が最も多様な場所だとされています。長いあいだ貴重な自然環境が残されていたアマゾン川流域では、20世紀後半から大規模な開発が進められるようになりました。アマゾン川流域を横断する道路が作られ、人々の移住が進められました。天然ガムの

地域どうしのつながり を提示した見開き ↓P210

2 日本を支える工業の中心地、東海

自動車工業の盛んな東海 東海の愛知県から近畿地方の三重県北部に広がる中京工業地帯は、自動車工業を中心とする輸送機械の生産が盛んで、日本最大の工業地域になっています。自動車工業で有名な豊田市は、かつては繊維工業が盛んでした。繊維工業用の機械を製造していた企業が、その技術を生かして、1930年代に自動車を作るようになり、現在は世界最大級の自動車メーカーになっています。自動車組み立て工場では、非常に多くの部品を使うため、周辺には鉄鋼やガラス製造などの大工場や、関連

何を学び、どう深めるか 授業や生徒の思考の流れに沿った構成

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、「見方・考え方」を働かせながら考える問いである「深めよう」を示したほか、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を企図した学習活動を提示しました。

1

導入資料

見開きの学習内容の導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2



この見開きで何を学ぶかを示します。この課題を考えながら学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる

注目!



見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な見方・考え方の例を示しています。 →本書 P.6-7

知識を活用して、課題を考えたり、解決したりできる紙面になっています。



資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。 →本書 P.16

地理 +α

学習内容を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。 →本書 P.17

3

本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

注目!



深めよう

学習課題の理解を深めるため、見方・考え方を働かせる問いを示しています。 →本書 P.14

4



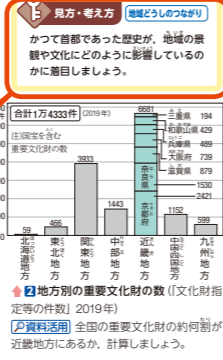
確認

学習課題に対応し、学習内容の理解を確かにする問いを示しています。

1時間の学習をふり返る



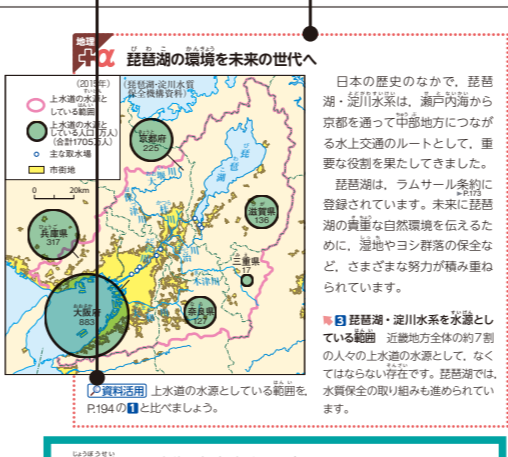
学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。



2 現在にいきづく歴史的都市の特色

豊かな歴史に支えられた近畿地方 古くから日本の中心地として発展した近畿地方には、奈良の平城京や京都の平安京など、各地に都(首都)がおかれました。京都は、首都を意味する「京」と「都」が都市名になりました。「近畿」という名称も、首都のまわりの地域を意味する畿内という言葉がもとになっています。京都・大阪は「県」ではなく、中心地の意味をもつ「府」とよばれています。歴史の長い近畿地方には、貴重な文化財が集中しています。京都や奈良には古くから続く寺院や神社も多く、その一部は世界文化遺産に登録されています。

千年の歴史をもつ京都 京都は、日本の歴史のなかで、最も長いあいだ首都であった都市です。およそ1200年前につくられた平安京から発展しました。東西南北にのびた春藤の目のようにまっすぐな道路や、三条通、四条通といった道路の名前は、



茶坊制という古代の都市計画のなごりです。長い歴史のなかで日本の伝統文化はくままれてきたことも、京都の特色の一つです。茶道や華道には、京都に本部をおく流派が多くみられます。日本料理(和食)や和菓子、織物の伝統を守り、未来に伝えようとしている店舗や業者も少なくありません。和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。京都の周辺では、都市に住む住民のために野菜を育てる近郊農業が盛んになりました。そこで守り伝えられた品種は、京野菜とよばれています。京都の南にある宇治を中心とした地域では製茶業が盛んとなり、現在では宇治茶の名前で世界的に親しまれています。日本の歴史のふるさと、奈良 奈良には、東大寺、興福寺、春日大社など、およそ1300年前の平城京の時代から続いている寺院や神社があります。平城京が都でなくなった後も、寺院や神社と周辺の町は残り、宗教・文化の中心地の一つとして北にある京都に対して南都とよばれ、現在の奈良へと発展してきました。平城京の中心であった平城宮跡では、発掘調査や建物の復元が進み、かつての景観が想像できるように整備されています。



お茶をたてる茶道家(2016年、京都市上京区)



日本料理(和食)の食育授業(2019年、京都市中京区)

深めよう 各地から観光客が集まる京都や奈良などの伝統行事には、どのようなものがあるでしょうか。



約300年ぶりとなる興福寺中金堂の再建を祝う法要(2018年、奈良県奈良市)

確認 京都・奈良の歴史的都市としての特色をまとめましょう。

歴史 連携コーナー

小学校の学習や歴史・公民とのつながりを示しています。 →本書 P.34



資料の活用や、「深めよう」の問いから深く学んでいけそうだね。

デジタルマーク

このマークのついた教材は、弊社ウェブサイトにあるデジタル資料で、学習を深めることができます。 →本書 P.30

インデックス

学習内容を全体のなかに位置づけて学習を進めることができます。

テーマを通して「知る・考える」 世界や日本の諸事象の学習を見通せる構成

教科書全体にわたって世界の各州・日本の各地方の**地域的特色を確実に捉えられる構成**にしています。2編2章(世界の諸地域)・3編3章(日本の諸地域)では、①導入で生徒の興味・関心を引き付け、②大観で州・地方の概要をつかみ、そのうえで各州の「主題」や各地方の「考察の仕方」をもとに③主題学習・動態地誌的学習を進め、④ふりかえりまでの活動を通して生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現できます。

1 導入ページ

州・地方を視覚的にとらえます

州・地方の様々な地理的事象を読み取ることができる写真を掲載し、左上には、**主題**や**考察の仕方**に深くかかわる**写真**を大きく掲載しています。学習の最初に生徒の興味・関心を引き付け、州・地方を視覚的に捉えることができます。

② **写真**を見て考える① **クイズ**を設定し、その州・地方の**主題**や**考察の仕方**に焦点化できるよう工夫しています。

→本書 P.14 クイズ

2 大観ページ

州・地方を大観します

州・地方の自然環境と人文環境を大観して、州・地方の地形・気候、人口、産業、交通・通信、歴史的背景などをおおまかにつかむことができます。

②の末尾に、先生が**主題**を提示したり、生徒が**考察の仕方**を見出したりする形で、その州・地方の③**追究するテーマ**を提示します。

→本書 P.14 追究するテーマ

5 関東地方 — 交通・通信をテーマに —

クイズ 「東京2020オリンピック・パラリンピック」に参加する国や地域の数はどれくらいでしょうか。また、どの州からいちばん多く参加するのでしょうか。

あ 白砂丘を乗り越えて建設された最長橋と工業地帯(2010年、茨城県鹿嶋市・神埼町)

い 神奈川県の住宅地(2018年、横浜市平塚区)

う 山手線と野田新幹線

え 武蔵野新駅(武蔵野線)

あ 白砂丘を乗り越えて建設された最長橋と工業地帯(2010年、茨城県鹿嶋市・神埼町)

い 神奈川県の住宅地(2018年、横浜市平塚区)

う 山手線と野田新幹線

え 武蔵野新駅(武蔵野線)

あ 白砂丘を乗り越えて建設された最長橋と工業地帯(2010年、茨城県鹿嶋市・神埼町)

い 神奈川県の住宅地(2018年、横浜市平塚区)

う 山手線と野田新幹線

え 武蔵野新駅(武蔵野線)

あ 東京都の島々
本州から南にのびる伊豆諸島や小笠原諸島は、東京都に含まれています。1年じゅう温暖で豊かな自然にめぐまれているため、観光客が盛んです。また、日本最南端の桜ノ島や最東端の南鳥島も東京都の一部です。小笠原諸島は、東京から約1日かかりますが、世界自然遺産に登録されたため、観光客が増えました。そこで、固有の動植物が影響を受けたり、外来種がもたらされたりしないよう、エコツーリズムの取り組みを進め、環境保全と観光業の両立をはかっています。

い 関東地方の自然環境と人々の生活
現在、関東地方には4000万人以上の人々が住んでいます。東京23区を中心に、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市といった**政令指定都市**や、郊外の衛星都市がつらなる**東京大都市圏**が広がっています。この地域は、日本でも最も人口が集中して、日本の政治・経済・文化の中心地になっています。また、日本の**首都**である東京があることから、この地域を「首都圏」ともよびます。

う 7地方のなかでも最も寒いのに、人口が最も集中しているんだね。ほかの地方や外国にも影響をあたえているのだからだね。

え 関東地方の自然環境と人々の生活が自然環境に影響をあたえている例もあわせて整理しましょう。

↑P.220-221 **注目!**
 自然環境・人文環境にかかわる写真をバランスよく掲載しています。

全州・全地方で掲載している図版
A 土地利用図
B 州・地方ごとのグラフ

A~**E**は全州・全地方で統一した体裁・配置・サイズで掲載

州・地方内での対比、他の州・地方との比較が可能です。

全州・全地方で掲載している図版
C 地形地図 **D** 人口密度地図
E 雨温図

↑P.222-223 **注目!**
 地図や雨温図から州・地方を大観する手がかりになるよう、資料活用コーナーを設定しています。

2編2章(世界の諸地域)で追究していく主題・3編3章(日本の諸地域)で用いる考察の仕方に加えて、各州・各地方で取り上げる**地球的課題・地域の課題(社会的課題)**を、各章の扉ページに一覧表の形で示しました。

| 州名 | アジア州 | ヨーロッパ州 | アフリカ州 |
|-------|------------------|----------------|----------------|
| テーマ | 人口や経済発展 | 国境をこえた統合 | 自立のための開発と国際協力 |
| 地球的課題 | 経済発展の地域格差や都市問題 | 統合のかけで進む分断の動き | モノカルチャー経済からの自立 |
| 州名 | 北アメリカ州 | 南アメリカ州 | オセアニア州 |
| テーマ | 世界に影響をあたえる産業 | 開発と環境保全 | 多文化が共生する社会 |
| 地球的課題 | 大量生産・大量消費の生活スタイル | 熱帯雨林の伐採による環境破壊 | 多様な民族の共生 |

↑ P.43 この教科書で設定している六つの州のテーマと地球的課題

↑ P.43

| 地方名 | 九州地方 | 中国・四国地方 | 近畿地方 | 中部地方 |
|-------|---------|------------|-------------|-----------|
| テーマ | 自然環境 | 人口や都市・村落 | 歴史的背景 | 産業 |
| 社会的課題 | 環境問題の克服 | 過疎地域の活性化 | 歴史的遺産と観光の両立 | 産業の競争力の維持 |
| 地方名 | 関東地方 | 東北地方 | 北海道地方 | |
| テーマ | 交通・通信 | 持続可能な社会づくり | 自然環境 | |
| 社会的課題 | 過密問題の解決 | 震災復興と地域づくり | 自然環境との共生 | |

↑ P.163 この教科書で設定している七つの地方のテーマと社会的課題

↑ P.163

州・地方で設定しているテーマ・地球的課題・地域の課題(社会的課題)の一覧
→本書 P.35 教科書内の連携

これらのテーマや課題に沿って③・④を進めていく構成になっています。



3

主題学習・
動態地誌的学習の
ページ

地域的特色を追究し、学習を深めます

②で設定した主題や考察の仕方にもとづいて、見方・考え方を働かせながら学習を進めることで、州・地方の**地域的特色や課題を確実に理解**することができます。

③の各見開きには**見方・考え方を働かせながら考える**問いである**③深めよう**を設定しています。

※各州・各地方で8ページ設定しています(一部の州では4ページ)。

11 住宅が密集する地区(2018年、東京都北区)

12 荒川周辺の再開発地区とスーパー・緑地・排水機場(2014年、東京都立)が密集している地域の防災拠点とするために整備されました。スーパー・緑地

13 戸川区・江東区 この再開発地区は、建物は、幅が非常に広く、川の水に強い防災面を有しています。

14 人口が集中すると、防災面でもいろいろな課題があるんだね。それをどのように解決していけばよいのだろう。

15 東京都の現在の水位表示(2017年、東京都江戸川)

16 2020年に向けて

17 都市問題の解決に向けて

18 東京への人口・経済などの一極集中が進むなか、東京では、オフィスやマンションなどの高層ビルの建設が進んで行われています。東京スカイツリーは、都市の全体的な高層化を受けて建設された電波塔です。

19 しかし、高度な都市機能が集中し、日本全体の平均機能を果たしている東京大都市圏では、首都直下地震などの地震が発生するおそれがあるとされています。地震によって、もし、東京大都市圏の都市機能が大きな被害を受ければ、日本全体に深刻な影響がおよぶと予測されています。

20 このため、東京大都市圏では、防災の観点からまちづくりを見直し、市街地の再開発や新しい道路の整備などが進められています。例えば、低層の住宅などの建物が密集する地区は、道路がせまくて公園などの空地も少なく、防災面で大きな課題をかかえています。そこで、このような地区を再開発して、火災や地震に強い構造の建築物を建設してオフィ

21 スや住宅を確保しながら、公園や道路を広げて、災害に強い市街地をつくる取り組みなどが、各地で進められています。

22 東京23区の東部を流れる荒川や江戸川などの河口部に近い低地は、人口密度が高く、さまざまな施設も存在しています。しかし、過去の地盤沈下によって、海面や川の水面の高さよりも地面の高さのほうが低い地域が広がっています。こうした地域では、洪水や高潮などの災害を防ぐため、堤防を強化したり、水門や排水機場を整備したりして治水を進め、緊急時にそなえています。

23 また、都市化が進んで地面がアスファルトなどでおおわれた地域では、雨水の大部分はしみこまずに排水路や川に流れこみます。そのため、集中豪雨のときに計画以上の雨水が流れこんで、排水がでにくくなって浸水する被害が発生しやすくなります。そこで、地下に巨大な調整池を建設して、雨水を一時的に貯めることで浸水を防ぐ取り組みが進められています。

24 過密化を解消するための都市機能の分散を目的として、筑波研究学園都市の建設や、東京周辺の都市でオフィスの整備が進められていることはすでに学習しましたが、これらの取り組みには、災害に強いまちづくりという防災面からの目的も存在しています。

25 2020年に向けて

26 2020年に向けて

27 2020年に向けて

28 2020年に向けて

29 2020年に向けて

30 2020年に向けて

31 2020年に向けて

32 2020年に向けて

33 2020年に向けて

34 2020年に向けて

35 2020年に向けて

36 2020年に向けて

37 2020年に向けて

38 2020年に向けて

39 2020年に向けて

40 2020年に向けて

41 2020年に向けて

42 2020年に向けて

43 2020年に向けて

44 2020年に向けて

45 2020年に向けて

46 2020年に向けて

47 2020年に向けて

48 2020年に向けて

49 2020年に向けて

50 2020年に向けて

51 2020年に向けて

52 2020年に向けて

53 2020年に向けて

54 2020年に向けて

55 2020年に向けて

56 2020年に向けて

57 2020年に向けて

58 2020年に向けて

59 2020年に向けて

60 2020年に向けて

61 2020年に向けて

62 2020年に向けて

63 2020年に向けて

64 2020年に向けて

65 2020年に向けて

66 2020年に向けて

67 2020年に向けて

68 2020年に向けて

69 2020年に向けて

70 2020年に向けて

71 2020年に向けて

72 2020年に向けて

73 2020年に向けて

74 2020年に向けて

75 2020年に向けて

76 2020年に向けて

77 2020年に向けて

78 2020年に向けて

79 2020年に向けて

80 2020年に向けて

81 2020年に向けて

82 2020年に向けて

83 2020年に向けて

84 2020年に向けて

85 2020年に向けて

86 2020年に向けて

87 2020年に向けて

88 2020年に向けて

89 2020年に向けて

90 2020年に向けて

91 2020年に向けて

92 2020年に向けて

93 2020年に向けて

94 2020年に向けて

95 2020年に向けて

96 2020年に向けて

97 2020年に向けて

98 2020年に向けて

99 2020年に向けて

100 2020年に向けて

↑ P.230-231

注目!
③の最後の見開きは、その州・地方にみられる**地球的課題・地域の課題(社会的課題)**を追究する内容になっています。

注目!
導入資料を**ダイナミック**に掲載している見開きもあり、楽しく学習を進めることができます。

4

ふりかえり
ページ

学習を確実にし、掘り下げます

最後に**④〇〇州(地方)をふりかえる**の問いで知識を定着させ、**④州・地方のテーマに沿った主体的・対話的な活動**で学習を深めることができます。

右ページの下半分には**④アクティビティ**を設定しています。
→本書 P.15 アクティビティ活動を通して学習内容の理解を深める**チャレンジ地理**を設定している州・地方もあります。
→本書 P.15 チャレンジ地理

自由研究

オリンピック・パラリンピックからみる東京の変化

東京は、2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されます。開催によって、東京はどのように変化するのでしょうか。

1 2020年に合わせて導入・開発予定の東京BRT(上:車両デザインイメージ)と山手線の駅(下:2018年、東京都港区)

2 2020年に向けて

3 2020年に向けて

4 2020年に向けて

5 2020年に向けて

6 2020年に向けて

7 2020年に向けて

8 2020年に向けて

9 2020年に向けて

10 2020年に向けて

11 2020年に向けて

12 2020年に向けて

13 2020年に向けて

14 2020年に向けて

15 2020年に向けて

16 2020年に向けて

17 2020年に向けて

18 2020年に向けて

19 2020年に向けて

20 2020年に向けて

21 2020年に向けて

22 2020年に向けて

23 2020年に向けて

24 2020年に向けて

25 2020年に向けて

26 2020年に向けて

27 2020年に向けて

28 2020年に向けて

29 2020年に向けて

30 2020年に向けて

31 2020年に向けて

32 2020年に向けて

33 2020年に向けて

34 2020年に向けて

35 2020年に向けて

36 2020年に向けて

37 2020年に向けて

38 2020年に向けて

39 2020年に向けて

40 2020年に向けて

41 2020年に向けて

42 2020年に向けて

43 2020年に向けて

44 2020年に向けて

45 2020年に向けて

46 2020年に向けて

47 2020年に向けて

48 2020年に向けて

49 2020年に向けて

50 2020年に向けて

51 2020年に向けて

52 2020年に向けて

53 2020年に向けて

54 2020年に向けて

55 2020年に向けて

56 2020年に向けて

57 2020年に向けて

58 2020年に向けて

59 2020年に向けて

60 2020年に向けて

61 2020年に向けて

62 2020年に向けて

63 2020年に向けて

64 2020年に向けて

65 2020年に向けて

66 2020年に向けて

67 2020年に向けて

68 2020年に向けて

69 2020年に向けて

70 2020年に向けて

71 2020年に向けて

72 2020年に向けて

73 2020年に向けて

74 2020年に向けて

75 2020年に向けて

76 2020年に向けて

77 2020年に向けて

78 2020年に向けて

79 2020年に向けて

80 2020年に向けて

81 2020年に向けて

82 2020年に向けて

83 2020年に向けて

84 2020年に向けて

85 2020年に向けて

86 2020年に向けて

87 2020年に向けて

88 2020年に向けて

89 2020年に向けて

90 2020年に向けて

91 2020年に向けて

92 2020年に向けて

93 2020年に向けて

94 2020年に向けて

95 2020年に向けて

96 2020年に向けて

97 2020年に向けて

98 2020年に向けて

99 2020年に向けて

100 2020年に向けて

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

注目!
全州・全地方の**問いの答え**を教科書QRコンテンツとしてご用意しています。
→本書 P.31

注目!
問いを各州・各地方の学習内容に沿って**カテゴリ分け**しているので、知識の整理に役立ちます。

もっと知りたく、考えたくなる 主体的・対話的で深い学びの実現

主体的・対話的な学習を促す問いやコーナーを充実させているだけでなく、各見開きにある様々なコーナーによって、①～④の流れ(→本書P.10-13)の中で、**単元全体・教科書全体で「主体的・対話的で深い学び」を実現することができるようにしました。**

1 導入ページ

①には**クイズ**を設定し、その州で追究する主題やその地方で用いる考察の仕方に深くかかわる写真を読み取ることで、主体的に考えることを促します。

P.220→

クイズ
「東京2020オリンピック・パラリンピック」に参加する国や地域の数はどれくらいでしょうか。また、どの州からいちばん多く参加するのでしょうか。

7地方のなかで最もせまいのに、人口が最も集中しているんだね。ほかの地方や外国にも影響をあたえているのではないかな。

追究するテーマ
関東地方の多くの人々の活発な活動は、ほかの地方や外国と、どのようなつながりがあるのでしょうか。

←P.223

2 大観ページ

②の末尾で、州・地方の概要を踏まえて、生徒がどのように学習を進めていくか見通しを持てるように、2編2章では先生が主題を提示し、3編3章では生徒が考察の仕方を見出す形で、**追究するテーマ**として問いの例を提示します。

3 主題学習・ 動態地誌的学習の ページ

見方・考え方を働かせながら考える問いである**深めよう**は、多くの州・地方で、**主体的**な学び→**対話的**な学び→**深い**学びの順で学習が深まっていく構造になっています。また、各州・各地方の**深めよう**の問いのうちのひとつが単元のまとめである④の**アクティビティ**に繋がっています。

深めよう

鉄道網・高速道路網・航空網が東京に集中していることを地図で確認し、なぜ集中しているのか、そこに問題はないかを考えましょう。

↑P.225

主体的

深めよう

郊外にある衛星都市を1か所選んで人口の推移を調べ、どう変化したのか、なぜ変化したのかを話し合しましょう。

↑P.227

対話的

深めよう

東京への一極集中にともなう課題の一つ取り上げ、どのように解決すればよいか考えましょう。

↑P.231

深い

学習課題
東京大都市圏では、過密化にともなうさまざまな課題を克服するために、どのような取り組みを行っているのでしょうか。

見方・考え方 地域

関東地方の地域的特色をふまえて、東京大都市圏の変化に着目しましょう。

↑P.230
見方・考え方をカギにして考えます。

4 ふりかえりページ

④では、**アクティビティ**や**チャレンジ地理**で具体的な課題を自ら調べたり、クラスで議論したりする活動を通して学習を深める主体的・対話的な問いや活動、**シンキングツール**を示しています。①～④の学習を通して、州・地方の地域的特色を確実に捉え、**単元全体で主体的・対話的で深い学び**が実現できます。

アクティビティ

- P.57 アジアの経済発展をまとめようー表づくりー
- P.81 アフリカのモノカルチャー経済からの自立に向けてーウェビングマップー
- P.105 自然環境に配慮した観光客の誘致ーキャッチフレーズづくりー
- P.115 私たちのまわりの多文化共生を考えようー発見学習・調べ学習ー
- P.177 自然環境を保全しながら観光業を発展させようーダイヤモンドランキングー
- P.191 地域活性化の取り組みを分析しようー関係図づくりー
- P.205 地域の魅力を広めようー施設づくりプロジェクトー

- P.233 東京への一極集中について考えようーディベートー
 - P.247 持続可能な社会をめざしてー地域づくりプランー
 - P.261 環境保全と観光業は両立できるか考えようーPMI表づくりー
- チャレンジ地理**
- P.70-71 ヨーロッパの大国、イギリスのEU離脱問題を考えよう
 - P.94-95 持続可能な社会をつくるために
 - P.151 ハザードマップをより深く知り、使うために
 - P.218-219 工場建設シミュレーションー知多半島のどこに工場を作る？ー

↓P.233

アクティビティ ▶東京への一極集中について考えようーディベートー

過密化による問題を解決するために東京への一極集中を緩和することについて、ディベートしましょう。

賛成 私は都市機能を地方に分散してもいいと思います。交通網も発達しているし、インターネットなどの通信網も整備されているからです。

反対 私は反対です。過密化による問題は改善しつつあるし、東京にはいろいろな魅力があるから人々が集まり、活気があるのだと思います。

私も一極集中を緩和するのに賛成です。なぜなら、通勤・通学の混雑が改善して、東京に住む人々にとってプラスになるからです。

都市機能が分散すると効率が悪くなります。東京が世界の大都市と競争していくには、都市機能の集中が必要ではないでしょうか。

この続きを、みなさんと話し合ってみましょう。その際、以下の点に注意するとよいでしょう。

- ① 自分の立場(賛成/反対)を明らかにしてから、理由を説明しましょう。
- ② 賛成/反対の理由に説得力をもたせるために、根拠となる事実をつけ加えましょう。
- ③ 自分の言いたいことばかりを主張するのではなく、相手の主張もしっかりと聞いてから反論しましょう。

P.94→

地理 持続可能な社会をつくるために

北アメリカで生まれ出た資源・エネルギーを大量に消費する生活スタイルは、世界各地の人々の生活に影響を与えています。一方で、近年では持続可能な社会づくりの大切さが世界的に意識されるようになってきています。持続可能な社会をつくるためには、以下のようなことへの配慮が必要になります。

① 大規模な生産・大量消費の社会を減らす? ② エネルギーの消費を減らす? ③ 資源を賢く使う? など

① 大規模な生産・大量消費の社会を減らす? ② エネルギーの消費を減らす? ③ 資源を賢く使う? など

アメリカで持続可能な社会をつくるために必要なこと

アメリカでは再生可能エネルギーを積極的に活用しています。

アメリカでは再生可能エネルギーを積極的に活用しています。

注目!

発達段階を考慮し、シンキングツールを体系的に設定しているため、個人やグループで課題を追究する場面など、様々な場面で活用できる**思考力・判断力・表現力等**の向上を図ることができます。

地理のスキルがどんどん身に付く 詳しい解説と実践的な問い

地理的技能や資料活用能力を身に付けるためのコーナーを充実させ、地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現できるようにしました。

スキルアップ



地理的技能を右の6種類に整理して、詳しく解説しています。発達段階に応じて、系統的に地理的技能を身に付けることができます。

- 統計資料を活用する P.4, 26, **47**, 51, 133, 152
- 地図を活用する P.22, 41, 87, 122, 124, 125, 132, 151
- 写真を活用する P.25, 252
- 地理的なきまりを身につける P.9, 11, 15
- 地域調査の手法を身につける P.121, 126, 128, 129, 130, 134, 135, 136
- 地域のあり方を考える P.264, 268, 272, 273

注目!

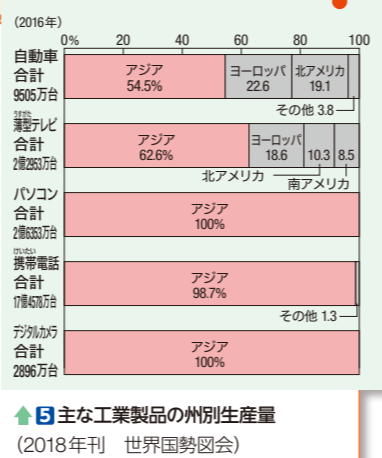
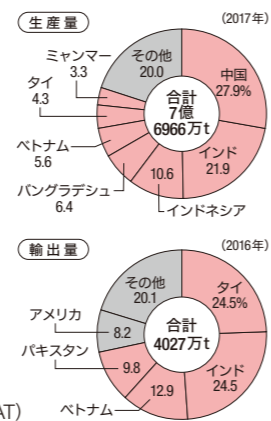
解説とともに、**問い**や**活動**を提示することで、地理的技能を定着させることができます。



統計資料を活用する③

グラフの読み取り方①

円グラフ、帯グラフは、割合を示すグラフです。何の割合を示したグラフなのか、タイトルで確認しましょう。**4****5**には、世界の合計量と、国別・州別の割合(%)が書かれています。複数のグラフを比べることで、さまざまな特色を読み取ることができます。**4**では、生産量の多い国と輸出量の多い国がちがっています。生産量が多いのに輸出量が少ない国の特色は何でしょうか。



P.47→

4 米の国別生産量と輸出量 (FAOSTAT)

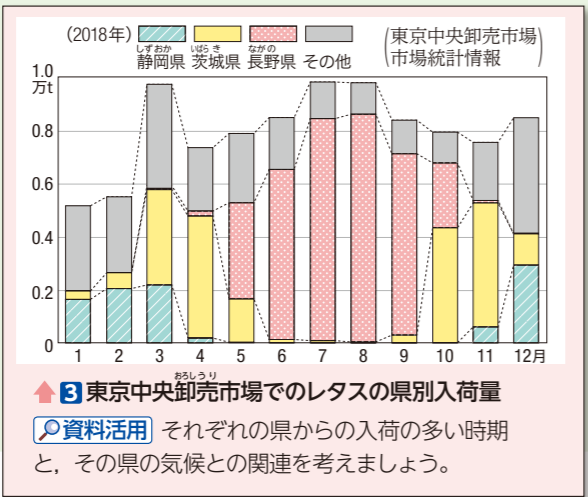
5 主な工業製品の州別生産量 (2018年刊 世界国勢図会)

資料活用

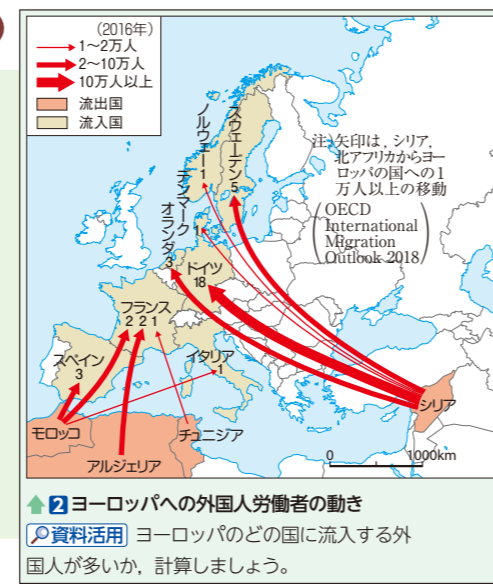


地図やグラフの読み取りのための活動を提案するコーナーを適宜設定しています。

P.212→



P.68→



地域的特色の理解がどんどん深まる 多様なコーナーが支える学習

生徒の興味・関心を引き出す地理的なトピックスや現地の人の言葉を紹介したり、作業学習を提案したりすることで、地理的分野の学習を楽しく深めていくことができるよう工夫しました。

地理+α



P.195→

見開きの学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができる**コラム**を設定しています。

注目!



地球儀を回転させて、**1****2****3**のように見える方向を探しましょう。

P.2

1編を中心に**トライコーナー**を設定し、楽しく学習内容を深めていくための**作業学習**を提案しています。

世界や日本の人々の生活の様子が読み取れる写真とともに、実際にそこに住む人々が**生徒に語りかける言葉**を紹介しています。

P.29

ガットさんの話

毎日のように、森に入って、木によじ登っては、大きな豆をとっています。蚊が多いゴムのプランテーションで働くよりも、涼しくて静かな森ですごくほうが好きですね。自転車で町に出かけて、この豆を売っています。町の人たちと話すのは楽しいです。私は学校に行かなかったから、字の読み書きができないけれど、子どもたちには学校に行っていきたいと思っています。最近、キリスト教徒になりました。



京阪神大都市圏の歴史をみる

近畿地方では、20世紀初めごろから、大阪・京都・神戸の**都心部**と**郊外**を結ぶ鉄道が次々とつくられました。鉄道を運行する企業は、都心部のターミナル駅に百貨店を、郊外に住宅地や遊園地、野球場などをつくって、乗客を増やしていきました。その結果、郊外の**衛星都市**にある住宅地で生活し、鉄道で時間をかけて通勤し、都心部の企業などで働くという生活スタイルが生まれました。この生活スタイルは、関東地方をはじめとする全国の都市部へ広がりました。また、大阪市と神戸市のあいだの阪神間とよばれる地域などには、高級住宅地が広がるようになりました。

また、1950年代以降、人口の急増に対応するために、郊外の各地で大規模な住宅地や**ニュータウン**の開発が進められました。大阪府北部の千里ニュータウン、大阪府南部の泉北ニュータウン、兵庫県南部の須磨ニュータウン、奈良県北部の生駒市から奈良市西部にかけての住宅地などが有名です。これらの地域では、開発当時に移り住んだ人々の高齢化が進み、再開発や住宅の建てかえが行われています。

は夏の暑さと冬の冷えこみがきびしくなります。北部は、冬に日本海からふく冷たく湿った季節風の影響で、雨や雪が多くなります。南部は、温暖で降水量が多くなります。これは、梅雨から秋にかけて、太平洋からふく湿った季節風や台風の影響を受けるためです。尾鷲の1年間の降水量は、中部の大阪の約3倍に達するほどで、紀伊山地ではしばしば大きな風水害が発生しています。



4 日本最大規模の私鉄のターミナル駅 (2019年、大阪市北区/阪急梅田駅)



5 日本初の本格的ニュータウンである千里ニュータウン (2019年、大阪府豊中市・吹田市)

声コーナー



地域調査学習からまちづくり会議へ 体系的な日本地理学習

3編では、1章(地域調査の手法)と4章(地域のあり方)で地域調査を実施して調査結果をまとめ、考察、構想までを確実にできるようにしました。また、2章(日本の地域的特色と地域区分)・3章(日本の諸地域)の学習と1章・4章の地域調査学習を結び付けられるよう工夫しました。

3編2章・3章で用いる視点(考察の仕方)

- ① 自然環境
- ② 人口や都市・村落
- ③ 産業
- ④ 交通・通信
- ⑤ その他

3編1章・4章での調査班

- 自然と防災班
- 人口と街なみ班
- 資源と産業班
- 交通と観光班
- 伝統と文化班



注目!
事例地域として京都市(伏見区)を取り上げました。修学旅行の事前準備や当日の現地での活動など、京都を訪れる際にも活用できます。

3編1章 地域調査の手法

3編2章・3章で用いる視点(考察の仕方)をもとに、五つの調査班に分かれて地域調査を進めます。

- ① 自然環境 … 自然と防災班 は身近な地域の水路や防災について調査を進める
- ④ 交通・通信 … 交通と観光班 は身近な地域の交通や観光客について調査を進める

3編2章 日本の地域的特色と地域区分

3編1章の調査結果を踏まえて、それらにかかわる事象が日本全体でどうあらわれているかを学習します。

- ① 自然環境 … 日本全体で地震・火山災害や気象災害が発生していることや防災について学ぶ
- ④ 交通・通信 … 日本全体で外国人観光客が増えたことや、過密地域では鉄道の混雑や道路の渋滞が深刻化していることを学ぶ

3編3章 日本の諸地域

3編1章の調査結果を踏まえて、それらにかかわる事象が日本の各地方でどうあらわれているかを学習します。

- ① 自然環境 … 日本の各地方でも地震・火山災害、気象災害が発生していることや防災について学ぶ
- ④ 交通・通信 … 日本の各地方で外国人観光客が増加し、外国人観光客の誘致も行われていることを学ぶ

3編4章 地域のあり方

3編2章・3章の学習を踏まえて、日本全体や日本の各地方でみられた課題が調査地域にどうあらわれているかを確認します。そして地域のあり方を考察、構想し、「まちづくり会議」を開いて構想の結果を発信し、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。



3編4章 地域のあり方

1 調査テーマを決める

2 調査計画を立てよう

3 調査テーマを決めて調査計画を立てよう

4 調査計画を立てる

5 まちづくり会議を開こう

6 まちづくり会議を開こう

7 まちづくり会議を開こう

8 まちづくり会議を開こう

9 まちづくり会議を開こう

10 まちづくり会議を開こう

11 まちづくり会議を開こう

12 まちづくり会議を開こう

13 まちづくり会議を開こう

14 まちづくり会議を開こう

15 まちづくり会議を開こう

16 まちづくり会議を開こう

17 まちづくり会議を開こう

18 まちづくり会議を開こう

19 まちづくり会議を開こう

20 まちづくり会議を開こう

21 まちづくり会議を開こう

22 まちづくり会議を開こう

23 まちづくり会議を開こう

24 まちづくり会議を開こう

25 まちづくり会議を開こう

26 まちづくり会議を開こう

27 まちづくり会議を開こう

28 まちづくり会議を開こう

29 まちづくり会議を開こう

30 まちづくり会議を開こう

31 まちづくり会議を開こう

32 まちづくり会議を開こう

33 まちづくり会議を開こう

34 まちづくり会議を開こう

35 まちづくり会議を開こう

36 まちづくり会議を開こう

37 まちづくり会議を開こう

38 まちづくり会議を開こう

39 まちづくり会議を開こう

40 まちづくり会議を開こう

41 まちづくり会議を開こう

42 まちづくり会議を開こう

43 まちづくり会議を開こう

44 まちづくり会議を開こう

45 まちづくり会議を開こう

46 まちづくり会議を開こう

47 まちづくり会議を開こう

48 まちづくり会議を開こう

49 まちづくり会議を開こう

50 まちづくり会議を開こう

51 まちづくり会議を開こう

52 まちづくり会議を開こう

53 まちづくり会議を開こう

54 まちづくり会議を開こう

55 まちづくり会議を開こう

56 まちづくり会議を開こう

57 まちづくり会議を開こう

58 まちづくり会議を開こう

59 まちづくり会議を開こう

60 まちづくり会議を開こう

61 まちづくり会議を開こう

62 まちづくり会議を開こう

63 まちづくり会議を開こう

64 まちづくり会議を開こう

65 まちづくり会議を開こう

66 まちづくり会議を開こう

67 まちづくり会議を開こう

68 まちづくり会議を開こう

69 まちづくり会議を開こう

70 まちづくり会議を開こう

71 まちづくり会議を開こう

72 まちづくり会議を開こう

73 まちづくり会議を開こう

74 まちづくり会議を開こう

75 まちづくり会議を開こう

76 まちづくり会議を開こう

77 まちづくり会議を開こう

78 まちづくり会議を開こう

79 まちづくり会議を開こう

80 まちづくり会議を開こう

81 まちづくり会議を開こう

82 まちづくり会議を開こう

83 まちづくり会議を開こう

84 まちづくり会議を開こう

85 まちづくり会議を開こう

86 まちづくり会議を開こう

87 まちづくり会議を開こう

88 まちづくり会議を開こう

89 まちづくり会議を開こう

90 まちづくり会議を開こう

91 まちづくり会議を開こう

92 まちづくり会議を開こう

93 まちづくり会議を開こう

94 まちづくり会議を開こう

95 まちづくり会議を開こう

96 まちづくり会議を開こう

97 まちづくり会議を開こう

98 まちづくり会議を開こう

99 まちづくり会議を開こう

100 まちづくり会議を開こう

知識だけではない災害・防災教育を 豊富な事例と実践的な学び

3編2章(日本の地域的特色と地域区分)では、地震・火山災害、気象災害、防災・減災(自助・共助・公助)について詳しく学習し、それらを踏まえた実践的な学習を提案するページを設けました。また、3編1章(地域調査の手法)・3章(日本の諸地域)・4章(地域のあり方)でも防災・減災に関する教材を充実させるように努めました。

地震災害 ・ 火山災害



↓P144

阪神・淡路大震災で倒壊した高速度道路(1995年、神戸市東灘区)
これら地震では、大きな被害が発生したんだね。

東日本大震災で沿岸部をおそった津波(2011年、宮城県岩沼市)

なぜ日本では多くの地震・火山災害が起こるのでしょうか。
見方・考え方 地域

3 地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分

地震や津波による災害
自然環境は私たちにさまざまなめぐみをもたらしますが、生命や財産に被害をあたえる自然災害を起こすこともあります。

日本は、環太平洋造山帯にあるため、世界のなかでも地震や津波、火山による自然災害の多い国です。地震は、規模(マグニチュード)

気象災害



↓P146

毎年、大雨による災害のニュースを見ることがあるね。

土石流(左:広島県呉市)と洪水(右:岡山県倉敷市) いずれも2018年の西日本豪雨による被害です。6月末から7月上旬にかけて、梅雨前線や台風の影響で、西日本の広い範囲で大雨による災害が発生しました。

なぜ日本ではさまざまな気象災害が起こるのでしょうか。
見方・考え方 地域

4 気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分

さまざまな気象災害
日本は、国土が山がちで海岸部の平野に多くの人々が住んでいるため、大雨や強風などの気象による自然災害(風水害)がひんぱんに発生します。

梅雨や台風による大雨は、毎年のように、全国各地で川のはらんによる洪水、地すべり、がけずれ、土石流などの風水害を引き起こします。また、台風は、しばしば高潮や強風による災害もたらします。高潮は、海水が、気圧の低下によってすい上げられたり、強風によって沿岸部にふきよせられたりすることで海面(潮位)が上

防災・減災 自助・共助・公助

大雨や大雨など、警報をいかに事前に予想され、重たいがちな高まるとされる。
警報、火警報(居住地域)、地震速報(震度6弱以上)も特別警報に含まれます。

重大な災害が発生するおそれがあるときに発表される。
注意報
災害が発生するおそれがあるときに発表される。

気象庁が発表する防災情報の例
日常生活のなかで行う防災対策の例

どこにどんな地形があるのか、あらかじめ理解しておく。
学校、通学路、自宅などの場所から避難所への避難経路を、ふだんから確認しておく。
非常用の備蓄食料や懐中電灯・ラジオなどを用意して、定期的に点検しておく。
電話やインターネットがつかない場合も想定して、家族がはなればなれになった場合の集合場所を話し合っておく。
特別警報、警報・注意報などの防災情報の意味を理解し、どの情報かどのような災害への注意をよびかけているのかをつかんでおく。
避難訓練・防災訓練にきちんと参加する。



↓P148

1週間分の備蓄食料(1人ぶん)の例

災害に対して、私たちはどうやってそなえていけばいいのかな。

多くの自然災害から地域や人々の生命を守るために、私たちはどのようなことに取り組めばよいのでしょうか。
見方・考え方 人と自然のかかわり

5 6 災害にそなえるために

防災・減災へのくふう
日本では、明治以降、建設技術の進歩や経済発展にともなって、防災対策が進められ、堤防、ダム、防潮堤などが整備されました。また、観測技術の進歩によって、地震、津波、気象などの警報・注意報もより正確になりました。その結果、自然災害の被害は大幅に少なくなりました。

しかし、技術と費用には限界があり、これらの防災対策だけで災害を防ぐことはできません。国・県・市町村などの機関、自主防災組織などの住民組織、家庭・個人が一体となって、被害をできるだけ小さくする減災に取り組んでいく必要があります。

どのように
防災や減災のためには、災害が発生する前に、

体系的・実践的な学習が可能です

3編1章 身近な地域の災害・防災についての調査ができます。

3編2章 地震・火山災害、気象災害、防災・減災について、体系的に学習を進めることができます。

- 地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分(P.144-145)
- 気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分(P.146-147)
- 災害にそなえるために(P.148-149)

自由研究 「釜石の奇跡」はなぜ起こったのか(P.150)

チャレンジ地理 ハザードマップをより深く知り、使うために(P.151)

3編3章 災害・防災に関する各地方の諸課題を学習することができます。

3編4章 日本全体や日本の各地方の災害・防災の学習を踏まえて、調査地域の防災について考察、構想できます。

各地方での学習

- 3編3章 P.168-169 自然環境に影響を受ける人々の生活(九州地方)
- P.190 巨大地震にそなえる過疎地域の取り組み(高知県)
- P.230-231 都市問題の解決に向けて(東京大都市圏)
- P.244-245 震災からの復興と災害に強い地域づくり(東北地方)
- P.246 新しいまちづくりをめざして(宮城県東松島市)
- P.247 持続可能な社会をめざして(東北地方)

実践的な学習

- すべての人々のための「京都市災害対策プラン」を立てよう!

防災に関する意識度チェック

- やっていますか? 1人1人ができること
- ☑家族での話し合い
- ☑防災グッズの用意
- ☑ハザードマップの確認
- ☑災害時の避難ルートや避難所の確認
- ☑徒歩での帰宅ルートの確認
- ☑災害時帰宅支援ステーションマップの確認
- ☑災害時帰宅支援マップの確認

私たちの提案 ●京都市 ▲日本全体
▲学校・企業で災害時の徒歩での帰宅方法を考える勉強会を開催しよう。
●有名な観光地のホームページに観光客緊急避難広場であることを多言語で示そう。
▲バリアフリー化が難しい避難所に必要な支援を考え、地域の人々で助け合う準備をしよう。
▲駅・インターチェンジなどで、ほかの地域からの避難者への対応を手伝おう。
●地形的に災害が起こりやすい観光地では、特に早めの避難をよびかけよう。



3編2章では、日本全体でのどのような災害がみられるかを学習した後、具体的な活動を通してハザードマップの使い方を身に付けることができます。このような実践的な学習により、生命や安全の確保に主体的に取り組むことができます。

新しい日文 **地理** 教科書のポイント

ポイント1

地理を楽しく 確実に学ぶ

たくさんの資料から、
地理的事象を読み取ることができます。



ポイント2

学習を支える 教科書 QRコンテンツ

学習内容をさらに深めるための
コンテンツが充実しています。



ポイント4

分野をこえた 連携

他分野、他教科、小学校との
連携を意識しながら、
地域の実態に合わせた
カリキュラムを編成できます。



ポイント3

学習上 配慮した点

すべての生徒が使いやすいよう、
様々な工夫をしています。



ポイント5

教科書で取り上げた 主な地域事例

各地域の様々な事例を取り上げています。

1 最新のトピックスに関する教材

地理的分野の学習では、世界や日本で「今」起きている出来事を、地理的事象を読み取ることができる教材として活用していくことが重要です。そのため、最新のトピックスや今日的な課題の具体的な事例を紹介し、多様な地理的事象に対する理解を深めることができるようにしました。

東京2020 オリンピック・パラリンピック

本文ページでの学習をふまえて、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が東京という地域にもたらす変化について考えることができる特設ページを設定しました。

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

自由研究 **オリンピック・パラリンピックからみる東京の変化**

東京では、2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されます。開催によって、東京はどのように変化するのでしょうか。

◆1 2020年に合わせて導入・開業予定の東京BRT（上：車両デザインイメージ）と山手線の新駅（下：2018年、東京都港区）

◆2 オリンピック・パラリンピックと再開発

◆3 東京都のホテルの客室数（「衛生行政報告例」2017年ほか）

←P.232

2025年 日本国際博覧会

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の会場となる「夢洲」周辺の土地利用などの変遷を地理的に解説し、大阪・関西万博に込められた期待や思いを読み取ることができますようにしました。

P.204→

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

自由研究 大阪・関西万博が開かれる大阪市の湾岸部

2025年に万国博覧会（万博）が開かれる大阪市の湾岸部では、最近、土地利用が大きく変化しています。湾岸部の開発のあゆみと、2025年の万博の計画をみていきましょう。

◆1 大阪市の湾岸部の土地利用

◆2 万博会場予定地の夢洲（2019年、大阪市此花区）

◆3 大阪・関西万博の会場予想図

湾岸部の埋立地

平地の少ない日本では、工業の発展とともに工業用地が不足し、湾岸部を埋め立てて重化学工業の大工場が建設されました。その後、工業の中心が自動車工業や先端技術（ハイテク）産業に移り、アジアの工業との競争がはげしくなったことを受けて、大工

た三つの大規模な埋立地があります。このうち、咲洲は最も早くから埋め立てられ、住宅地やフェリーターミナルなどもあります。舞洲には、スポーツ公園などもつくられています。

大阪・関西万博の会場となる夢洲

ヨーロッパの大国、イギリスのEU離脱問題を考えよう

イギリスのEU離脱問題

EU離脱を決めたイギリス

イギリスは、1993年のEU設立時からEUに加盟していましたが、EUからの離脱を主張する声が強くなってきました。そこで、2016年に国民投票を実施した結果、離脱賛成が約52%、反対が約48%となって離脱が決まりました。イギリスのEU離脱によって、EU統合に大きな影響が出たほか、イギリスやEU加盟国だけではなく世界中に経済的な影響が広がっています。また、国民投票の結果がわずかな差だったこともあり、イギリス国内では現在もEU離脱の是非についての議論が続いています。なぜ、イギリスはEUを離脱することになったのでしょうか。

◆1 国民投票の結果のようす（上）と結果を伝える新聞記事（下）（2016年、イギリス）

あなたはEU離脱に賛成？反対？ 国民投票に参加したイギリスに住むAさんからFさんの意見を聞き、あなたはイギリスの人々の声を聞いて判断しよう。

1 AさんからFさんの意見はEU離脱に賛成か反対かを考え、賛成なら「○」、反対なら「×」を□に書きましょう。

イギリスでは、移民や難民が無料で医療施設を受診できたり、住み家が提供されたりするの、多くの人々がやっています。移民や難民は私たちが暮らす国を豊かにしてくれます。イギリス人の仕事もなくなってしまうので、移民や難民を歓迎するべきです。

Aさん

私は世界中の国々と貿易をしています。EUに加盟していれば、EUの中では税金がかからず自由に取り引きできたのですが、今後どのような状況になるかわかりません。ヨーロッパの人々も、私たちを取り引きを続けてくれるか心配です。

Bさん

イギリスはもとより先進国で、自分たちで国を発展させてきました。EUに加盟することで、ヨーロッパ全体が発展したのよかったです。イギリス人がEU加盟国で働くのは、イギリスにメリットがないような気がするので、イギリスはEUを離脱すべきです。

Cさん

イギリス人には、イギリスは昔から世界の中心地だったという誇りがあります。イギリスがEUをリードしてきたのに、いろいろなことをたたくさんのEU加盟国という決定をたたくさんには、イギリスにメリットがないような気がするので、イギリスはEUを離脱すべきです。

Dさん

私たちの国は、外国からの移民で豊かになりました。今日、私たちが暮らす国は、移民のおかげで豊かになりました。イギリス人がEU加盟国で働くのは、イギリスにメリットがないような気がするので、イギリスはEUを離脱すべきです。

Eさん、Fさん

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

↑P.70

ヨーロッパ州のふりかえりとして、イギリスのEU離脱問題について考えることができる活動を提案しました。

日本の産業の新たな取り組み

最新の技術や、地域の豊かな魅力を活用した、日本各地の人々の新たな挑戦の事例を取り上げています。

西万十町次世代団地でトマトを栽培する会社の 澤田さんの話

私たちは、団地内の次世代型ハウスでトマトを栽培しています。このハウスは、従来のビニールハウスの約3倍の高さで、広い空間が確保できるので、温度や湿度、二酸化炭素の濃度などを制御し、農産物の栽培に最適な環境をつくれます。そのため、このハウスの面積当たりの収穫量は全国平均の約2倍です。この団地の周辺には、トマトを生産する会社のほかに種苗会社や堆肥化施設、農業担い手育成センターなどがあり、さまざまな仕事を創出する取り組みが行われています。

◆1 西万十町次世代団地（2016年、高知県）

A 種苗会社 B 農業担い手育成センター C 堆肥化施設 D 集出荷施設 E 市民農園



◆2 次世代型ハウスの中（2016年、高知県西万十町）

ふつうのトマトの栽培とは、ずいぶん違うが、おいしいね。

中国・西国地方の過疎地域では、特色のある農業をどのように地域活性化に生かしているのでしょうか。

4 地域に根ざした農業と作り手の人々

資源・エネルギーに対する新たな動き

↓P.93

シェールガスとシェールオイル

アメリカは豊富な鉱産資源を生かした鉱業が盛んですが、消費量も多いために大量の資源を輸入しています。しかし、最近、技術の進歩によってこれまで採掘の難しかった場所にあった天然ガス（シェールガス）や石油（シェールオイル）の採掘が可能になってきました。その結果、アメリカでは天然ガスや石油の自給率が高まり、輸入が減って輸出が可能になってきました。また、資源価格が下がることで工業生産が増えることが予想されています。

山形県鶴岡市で農場を経営する 小野寺さんの話



私の農場では、5.2haの農地で農薬や化学肥料を使わずに米、だだちゃ豆（枝豆）などのさまざまな野菜を栽培しています。収穫した農産物は、主に農事組合法人で餅に加工したり、生活協同組合などを通して消費者に販売したりしています。また、一部は、直接消費者に通信販売して、自家栽培の米や旬の野菜（年間50〜60種類）を中心に、食事を提供しています。農作業体験を受け入れたり、さまざまなイベントを行ったりして、多くのお客様に来ていただけるように努力しています。



◆6 小野寺さんの農場が経営する農家レストラン（2019年、山形県鶴岡市）



◆2 ロケットを生産する工場（上：2015年、愛知県飛島村）と国産ジェット機の試験飛行（下：2016年、愛知県豊田町） 東海では、航空・宇宙産業も盛んです。

←P.186

↑P.210

2 伝統・文化を捉えることができる教材

世界や日本における伝統・文化の現状と、それを守り、未来に継承していく人々の取り組みについて、随所に写真、コラム、特設ページなどを設定しました。

百舌鳥・古市古墳群

世界文化遺産への登録につながった地域の取り組みを取り上げています。

P.203→

世界文化遺産をめざす百舌鳥・古市古墳群

大阪府南部の堺市、羽曳野市、藤井寺市には、多くの古墳が集まっている百舌鳥・古市古墳群があります。巨大な前方後円墳がこれほど集中している地域はほかになく、重要な歴史的価値があるとされています。現在、大阪府と三つの市は、古墳群の世界文化遺産への登録をめざして、学術調査や古墳群の魅力を伝えるPR活動などの取り組みを進めています。世界文化遺産に登録されると、観光客の増加など、地域活性化にもつながることが期待されています。



百舌鳥・古市古墳群(2019年、左：堺市、右：羽曳野市・藤井寺市)

*供給時に、最新の状況に更新する予定です。

弘前ねぶたまつり

伝統・文化を継承する人々の取り組みを取り上げています。

P.240→

弘前ねぶたまつりを運営している櫻田さんの話



ねぶたは、弘前の地に根づいてきた文化です。ねぶたが確認できる最も古い資料は、約300年前の江戸時代までさかのぼります。当時の弘前藩の藩主が、弘前の城下でご覧になった記録が残っています。そこから青森や黒石、五所川原などに広がり、各地に合った形に変わっていききました。ねぶたには、本来あるべき姿は残しつつ、変化してきたものもあります。ねぶたを内部から照らす明かりは、初めはろうそくでしたが、やがて電球となり、今ではLEDになってきています。



注目!

伝統文化の変化や、都市文化などの現代文化に関する記述も充実しています。

P.225

日本の都市文化

現代文化も、日本の文化の重要な要素なんだね。



世界が注目! 日本の都市文化

東京大都市圏には、インターネット関連企業、ゲームや映像を制作する企業、出版などの情報通信業の企業も集中しています。これらの企業で作る商品や、発信する情報は、日本だけでなく、世界中から注目を集めています。例えば、日本企業の作る映画やアニメーション、ゲームは、世界中で多くのファンを獲得しており、各国でさまざまなイベントが開催される人気になっています。また、日本の若者向けのファッションイベントも世界的に注目されています。東京大都市圏は、食文化、ファッション、芸術など、現代のさまざまな都市文化を生み出し、世界に発信する場所になっています。



世界に向けて発信される日本のファッションショー(2018年、横浜市港北区)

世界各地の様々な文化

P.112→



多くの人でにぎわう水上マーケット(2018年、タイ/バンコク) 水路につく

P.45

P.31→



1997年



2018年

深めよう

20年のあいだに、遊牧民の生活はどう変わったのでしょうか。2018年の写真に新たに写っているものを読み取って、生活の変化を想像しましょう。

ゲルとよばれるモンゴルの遊牧民の住居(モンゴル)

3 持続可能な社会について考えることができる教材

世界や日本の各地でみられる地球的課題・地域の課題(社会的課題)である環境問題や環境保全の取り組みについて紹介し、持続可能な社会について考えることができました。

様々な環境保全の取り組み

P.101

P.262→

人と環境にやさしい都市づくり

クリチーバ市は、イグアス滝の上流部にある人口約200万人の大都市です。南アメリカは、アジアやアフリカと同様に、スラムの形成や交通渋滞などの都市問題をかかえています。クリチーバ市では、持続可能な開発をめざす都市づくりを進めて、さまざまな問題に対応しています。スラムの環境改善、工場の誘致、住宅の建設、公共交通機関や自転車専用レーンの整備を進めて、まずしい人々が仕事・住居・移動手段を確保できるようにしています。ごみの分別回収やイグアス滝につながる川の流域整備、学校での環境教育など、さまざまな環境保全の取り組みも進めています。



電気が通り環境が改善したスラム(2011年) 接続バス(2011年)

P.174



1960年代



1980年代

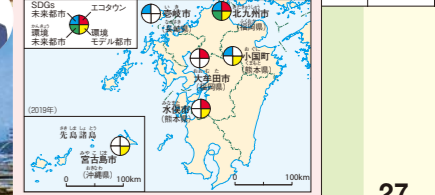
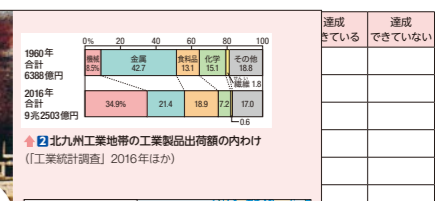
北九州市の環境の変化

2編2章では、州ごとに地球的課題を取り上げて学習を進めました(-P.43)。3編3章では、地方ごとに社会的課題を見出して追究しました(-P.163)。

持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標



現在の日本では、SDGsの17の目標はどの程度達成できているのでしょうか。クラスで話し合っ、達成できているか、達成できていないかを判断しましょう。



地理を楽しく確実に学ぶ

学ぶほど、もっと知りたくなる「今」を捉えた豊富な教材

4 多文化共生社会について考えることができる教材

特設ページやコラムなどを多数設定し、**多文化共生**に関する事例を取り上げました。

身近にある多文化共生の例を知ることで、多文化共生社会の重要性を認識して、他国を尊重し、様々な文化的背景を持つ人々と共生しようとする態度を養います。



日本における多文化共生

↓P38



多くの言語が書かれた案内表示(2017年、東京都調布市)から、日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、フランス語、スペイン語、インドネシア語、タイ語で書かれています。



ブラジルの食品を扱うスーパーマーケット(上)とポルトガル語を教える教室(下)(2018年、群馬県大泉町)

多文化共生社会をめざして

日本では、人口減少や高齢化などで労働力が不足しており、外国人がさまざまな産業で働き、それを支えています。大泉町では、自動車関連工場などで、ブラジルなどから来た多くの日系人が働いています。町の人口に占める外国人の割合は約2割で、ポルトガル語で書かれた看板やブラジルの食品を売る店などがたくさんあります。大泉町では、日本の制度・文化の紹介や日本語学習の案内を進めたり、ポルトガル語版の広報紙を発行したりして、異なる文化や考え方をみんなと暮らす多文化共生社会をつくる取り組みを進めています。

日本と外国とのかわり

自由研究 日本とアジアの国々とのかわり

アジアの経済発展とともに、日本とアジアの国々との結びつきが強まっています。人や文化の交流を例に、身近なところにあるアジアとの結びつきをみてみましょう。

Graphs and text showing trends in international tourism and cultural exchange between Japan and Asia. Includes a line graph of international tourists and a pie chart of tourists by country.

↑P56

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

↓P229

↓P199



多くの人がおとずれるコリアタウン(2018年、大阪市生野区)

大阪市生野区には、韓国・朝鮮の料理店や商店がなるぶコリアタウンがあります。かつて、日本の植民地政策のもとで移住してきた人々が集まって生まれた街です。現在では整備が進み、観光客でにぎわっています。日本と韓国・朝鮮とのかわりやコリアタウンの歴史を学ぶフィールドワークやおとずれる人や修学旅行生なども増加しています。

5 日本の領域を捉えることができる教材

日本の領域についての学習では、**北方領土・竹島の領土問題**や、**尖閣諸島には領土問題が存在しないこと**を、わかりやすく詳しく説明するとともに、**日本固有の領土**であることを明記しました。

Large infographic titled '日本の領域を捉えることができる教材' with multiple sections: 1. 日本固有の領土を捉える (Japan's inherent territory), 2. 日本固有の領土をめぐれる問題をとらえよう (Issues around inherent territory), 3. 日本の領域の特色をとらえよう (Features of Japan's territory), 4. 日本固有の領土をめぐれる問題をとらえよう (Issues around inherent territory - detailed), 5. 領土問題の解決に向けて (Towards resolution of territorial issues).

↑P16-17

P18-19

6 世界や日本の学習を掘り下げることができる教材

2編2章(世界の諸地域)や3編3章(日本の諸地域)などには、特設ページ「自由研究」を設けています。州・地方のテーマに沿って、**世界や日本の学習を掘り下げることができるトピックス**などを取り上げ、詳しく解説しています。

自由研究 温暖な気候を生かしたプロ野球のキャンプ

野球やサッカーなどのプロスポーツチームの多くは、宮崎県や沖縄県で体力づくりや練習をするキャンプを行います。これらの県でキャンプをするメリットは何なのでしょう。

Infographic for '温暖な気候を生かしたプロ野球のキャンプ' including a map of Japan, photos of baseball players, and a bar chart comparing temperatures in Miyazaki and Okinawa.

プロ野球は、毎年4～10月に試合を行います。そのため、各チームは、2月から3月にかけて試合に向けた練習をします。しかし、各球団の本拠地は北海道から九州北部にあるので、2月はまだ寒いうえに日没も早く、屋外の練習には適していません。そのため、暖かくて日照時間が長い宮崎県や沖縄県などでキャンプをしているのです。日南市では、広島市に本拠地をもつプロ野球チームがキャンプを行っています。日南市は、広島市と比べて、2月の平均気温が4℃ほど高くなります。また、日照時間が長く、温暖な気候の地域のなかでは降水量も比較的小さいので、1963年から継続して日南市をキャンプ地として利用しています。選手が練習をしている天福球場からほど近い油津商店街などは、県内外からキャンプを鑑賞しにくる人々にぎわいます。天福球場の最寄り駅である油津駅では、2018年からチームにちなんだ装飾が掲げられ、駅舎や球場までの道がチームカラーである赤色にぬられています。商店街では、チームのグッズを販売するなど、チームを応援しています。キャンプ観覧を目的とした旅行ツアーが組まれたり、周辺の宿泊施設がキャンプ期間中に混雑するなど、プロ野球チームのキャンプは日南市に大きな経済効果をもたらしています。一部の選手は、2月後半から沖縄県に移動してキャンプをします。このように、プロ野球チームは、温暖な気候を上手に利用して練習しています。

- P.26-27 世界のさまざまな気候 P.56 日本とアジアの国々とのかわり
P.80 アフリカの紛争と私たち P.104 地球温暖化を防ぐために
P.114 アジアの国々や日本との結びつき
P.116 北極地方と南極地方
P.150 「釜石の奇跡」はなぜ起こったのか
P.176 温暖な気候を生かしたプロ野球のキャンプ
P.190 巨大地震にそなえる過疎地域の取り組み
P.204 大阪・関西万博が開かれる大阪市の湾岸部
P.232 オリンピック・パラリンピックからみる東京の変化
P.246 新しいまちづくりをめざして
P.260 自然環境の視点からみた石狩平野の発展

←P.176

ポイント2

学習を支える
教科書QR
コンテンツ

もっと広がる、
教科書の向こう
もっと深まる

教科書QRコンテンツのご紹介

教科書内容の理解を助ける画像や動画などの教科書QRコンテンツを、弊社ウェブサイトで公開しています。関連するコンテンツの掲載されている教科書のページには、「デジタルマーク」を表示しています。

教科書QRコンテンツを公開しているサイトは、P.VII「教科書の構成と使い方」に掲載しているQRコードを読み取ることでアクセスできます。



QRコードを読み取って...

日本文教出版
ウェブサイトに
アクセスして...



デジタルマーク
このマークのついた教材は、ウェブページにあるデジタル資料で、学習を深めることができます。
<https://www.nichibun-g.co.jp/2021dc/csha/chi/>

↑P.VII 「教科書の構成と使い方」



見たい
コンテンツを
クリック!



↓動画教材 センターピボット方式



白い線に見えるのは、平均400mのスパンクラです。地下水をくみ上げ、円形に回転しながら肥料をまけた水をまきます。

こんなに大規模な農業をどのように行っているのだろう。

↑P.86 アメリカの広大な農地の空撮



センターピボット方式
(2017年、アリゾナ/フロリダ州)

動画で回転の
ゆっくりさを
確認できます。



クウェートに駐在していた外交官の家族 辻原さんの話

クウェートは、四国ほどの面積の小さな国ですが、世界有数の石油の埋蔵量を誇ります。

一般的にイスラム教徒の女性は髪や手足が見えない服装をします。クウェートでは、多くの女性がアバヤという首から足元までの黒いワンピースのような服を着ています。

アバヤは、黒地のものがほとんどですが、刺繍がされていたり、ふち取りがされていたりして、ファッション性もあります。スーパーマーケットの洗濯売り場には、アバヤ用の洗剤が売られています。アバヤの黒い色が落ちない、特別なおしゃれ用の洗剤です。

アバヤは日本人から見ると、おしゃれさをおさえこんで不便そうにも思えるのですが、クウェートの女性にとってはそうではなく、誇らしく着ている人が多いそうです。まだアバヤを着ることができない子どもたちは、早く大人になって着たいと思っているそうです。

4 アバヤ用の洗剤 (2014年クウェート) 写真の上段と下段の左半分がアバヤ用の洗剤で、下段の右半分は、男性の着るスターシャという服用の洗剤です。



教科書の資料を
補充する追加
画像を確認
できます。

↑画像教材 クウェートの生活



5 関東地方

オリンピック・パラリンピックは、世界の国々がつながる機会だね。

クイズ
「東京2020オリンピック・パラリンピック」に参加する国や地域の数はどれくらいでしょうか。また、どの州からいちばん多く参加するのでしょうか。

↑P.220 「クイズ」と導入図版

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

注目!

2編2章(世界の諸地域)、3編3章(日本の諸地域)では、導入ページ「クイズ」と単元末「〇〇州(地方)をふりかえる」の解答集を教科書QRコンテンツで公開しています。→本書P.13

↓解答集

クイズ
〇〇州をふりかえる
〇〇地方をふりかえる

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| 1. アジア州 クイズ C 1000万人 アジア州をふりかえる P.54 ア-サウジアラビア イ-インド ウ-中国 エ-韓国 オ-タイ カ-フィリピン ク-マレーシア ク-インドネシア ア-ヒマラヤ山脈 ハ-インドス川 イ-黄河 ロ-長江 1-イスタム 2-ベトナム 3-石炭輸出国機構(OPEC) 4-モンソン 5-情報通信技術(ITC) 6-仏 7-ムンツ 8-経済特区 9-工場 10-橋 11-工場 12-ASEAN クイズ 1-カルメ 2-イスタム 3-イスタム 4-イスタム 5-イスタム 6-イスタム 7-イスタム 8-イスタム 9-イスタム 10-イスタム 11-イスタム 12-イスタム | 7-多 8-地中海 9-冷帯(亜寒帯) 10-ET 11-再生 12-ヨロツクイ 13-ヨロツクイ 14-ヨロツクイ 15-ヨロツクイ | 6-企業 7-製造業 8-製造業(ハイテク)産業 9-サービス業 10-サービス業 11-サービス業 12-サービス業 13-サービス業 14-サービス業 15-サービス業 | 5. 南アメリカ州 クイズ C 10倍以上 南アメリカ州をふりかえる P.105 ア-ブラジル イ-アルゼンチン ウ-ペルー エ-コロンビア オ-チリ カ-エクアドル ク-ボリビア ク-パラグアイ ク-ウルグアイ ク-ベネズエラ ク-ガイアナ ク-スリナム ク-フランス ク-ドイツ ク-オーストリア ク-イタリア ク-スペイン ク-ポランド ク-ロシア ク-トルコ ク-ギリシャ ク-ポルトガル ク-フランス ク-ドイツ ク-オーストリア ク-イタリア ク-スペイン ク-ポランド ク-ロシア ク-トルコ ク-ギリシャ ク-ポルトガル | 1-山 2-季節風 3-山 4-少年 5-多 6-山 7-山 8-山 9-山 10-山 11-山 12-山 13-山 14-山 15-山 16-山 17-山 18-山 19-山 20-山 21-山 22-山 23-山 24-山 25-山 26-山 27-山 28-山 29-山 30-山 31-山 32-山 33-山 34-山 35-山 36-山 37-山 38-山 39-山 40-山 41-山 42-山 43-山 44-山 45-山 46-山 47-山 48-山 49-山 50-山 51-山 52-山 53-山 54-山 55-山 56-山 57-山 58-山 59-山 60-山 61-山 62-山 63-山 64-山 65-山 66-山 67-山 68-山 69-山 70-山 71-山 72-山 73-山 74-山 75-山 76-山 77-山 78-山 79-山 80-山 81-山 82-山 83-山 84-山 85-山 86-山 87-山 88-山 89-山 90-山 91-山 92-山 93-山 94-山 95-山 96-山 97-山 98-山 99-山 100-山 |
|--|---|---|---|---|

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

見やすさ、わかりやすさ、軽さを追求
すべての生徒が快適に学習できるように

ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)である、「UD黎ミン」「UD新ゴ」(株式会社モリサワ)を使用しています。本文以外の箇所にも、適切なUDフォントを使用しています。

地域によって異なる農業
ヨーロッパでは、地域ごとに自然環境に応じた農業が行われています。アルプス山脈より北側では、小麦、ライ麦、じゃがいもなどの栽培に、豚、牛などの家畜の飼育を組み合わせた**混合農業**が行われてきました。現在は、

UD黎ミン

←P.64

ルビについて

小学校6年生以上で学習する漢字には、見開きの初出の箇所にルビ(ふりがな)をつけています。また、**重要語句**には、すべてルビを入れました。
ルビの書体にもUDフォントを採用し、小さな文字でも読み取りやすくしています。

UD新ゴ

「図版番号」について

図版には番号を付し、授業の際に使いやすくしました。また、本文にも関連する図版番号を添えて、**本文と図版を関連させて読み取る**ことで、よりよく理解できるようにしています。

「単元カラー」とインデックス

各単元で基本色となる「単元カラー」を設定し、色遣いを統一しています。また、本文ページの右端に**インデックス**を設け、現在学習している位置を常に参照できるようにしています。



教科書の軽量化への取り組み

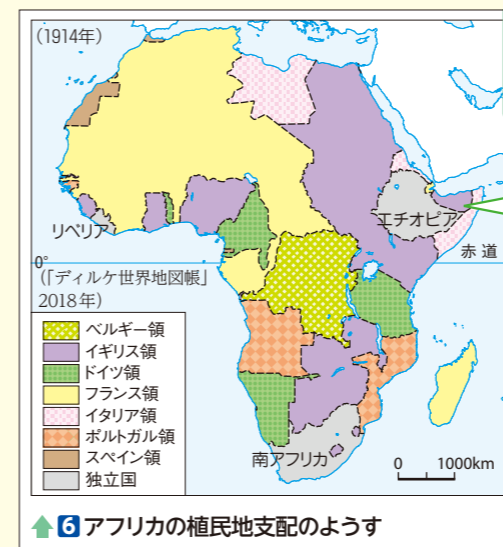
生徒の持ち運びの負担を軽減するために、平成28年度版の教科書と比較して**約5%軽い紙**を採用しています。それでいて裏写りが少なく、十分な強度を持つよう工夫しています。



カラーユニバーサルデザインへの対応

特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(国立特別支援教育総合研究所名誉所員・特任研究員)に校閲をお願いし、**すべての生徒が等しく情報を読み取ることができる**ように配慮しました。

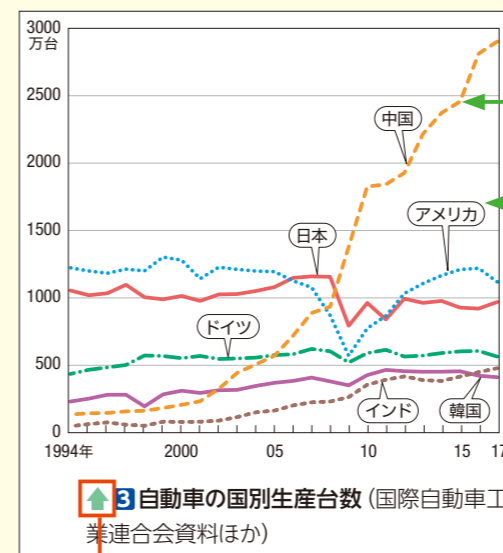
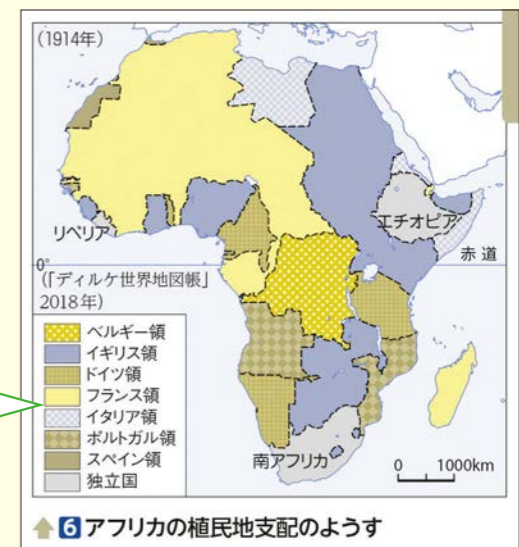
CUDへの対応の例



●地図やグラフなどは、読み取りやすい配色にするとともに、形や模様によって色に頼らない読み取りを可能にしています。

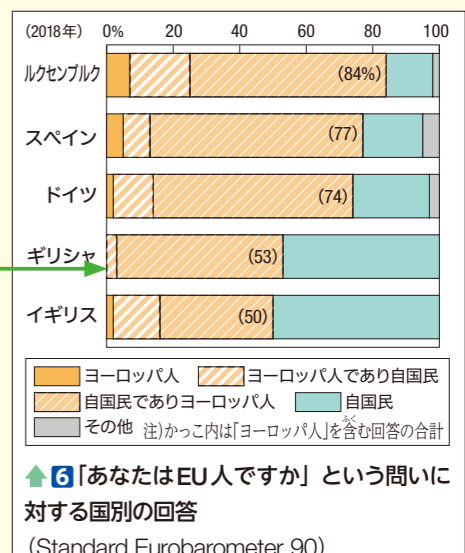
●教科書の中で使用している色は、色覚に特性のある人でも判別が可能になるよう配慮しています。

例：1(P)型2色覚の方の見え方のシミュレーション



●折れ線の色だけでなく線種を変更し、違いを明確にしています。
●凡例表示ではなく、折れ線にフキダシをつけています。
●帯グラフや円グラフは細い黒線で区切り、模様を付けるなどして読み取りやすくしています。

図版タイトルの先頭には矢印を付し、どの図版を指しているのか明確にしています。



拡大教科書のご案内

<令和3(2021)年3月発行予定>

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真などの図版の配置も再レイアウトしたものです。

このほか、学習者用デジタル教科書(→本書 P.46)には、総ルビ表示や機械音声読み上げなどの様々なニーズに対応した機能が搭載されます。

ポイント4

分野をこえた連携

学びを豊かに実らせます
さまざまな学びがつながりあって

1 連携コーナー

脚注に小学校社会科や歴史的分野・公民的分野との関連をわかりやすく示す**連携コーナー**を設けているので、**小学校社会科**でどのような内容を学んできたのか、**歴史的分野・公民的分野**でどのような内容を学ぶのかを参考にすることができます。

小学校社会科との関連

小学校 (3年) 身近な地域調べをしたときは、どんな準備をしたでしょうか。 ←P.126

歴史的分野・公民的分野との関連

歴史 近畿地方が日本の政治・経済・文化の中心だった時代はいつごろでしょうか。 ←P.196

公民 世界の国際組織や地域統合のようすは、3年生の公民的分野でも学習しましょう。 ←P.62

2 小学校社会科、歴史的分野・公民的分野との連携

章の導入ページで小学校社会科の学習内容を示したり、歴史的分野や公民的分野と関連した教材を多数掲載したりしているため、**相互に関連させながら学習を進める**ことができます。

歴史的分野との関連

公民的分野との関連

地理 **α** 堺の工業の歴史

8 鉄砲作り

9 堺打刃物

(2014年、アメリカ/ニューヨーク) 堺打刃物職人の技術は世界でも有名です。

16世紀から19世紀にかけて、堺は日本有数の鉄砲の産地でした。鉄砲の需要が減ると、職人は刃物作りに移っていきま。堺打刃物は、現在でも世界中の料理人に愛用されています。また、鉄砲職人の技術を生かすことで、堺では自転車工業も盛んになりました。

10 「自転車のまち堺」を発信するロードレース(2018年、堺市堺区)

↑P.201

スキルUP

地域のあり方を考える③
対立したときに合意を形成する方法

地域の課題を解決する構想をつくる際には、さまざまな提案が生まれます。A④の二つの提案が生まれて、その二つが対立してしまったときには、次のような解決方法があります。

- (1) A④のどちらかを選択する。
- (2) A④を6割、④を4割というふうにして、二つの案を取り入れて調整する。
- (3) A④の次に④を行う、④の次にA④を行うというふうにして、二つの案に順番をつける。
- (4) A④でも④でもない、④という新しい案を考える。

「私たちのまちづくりプラン」をまとめるときには、四つの方法のどれがよいか考えながらまとめよう。

↑P.272

各章の導入ページで、その章の学習内容と関連の深い小学校社会科の内容を示しました。

小学校で学習した内容

- 4年** 私たちの住む県のような県内の特色ある地域のような
- 5年** 日本の自然環境の特色
日本の農林水産業、工業、情報
日本の災害・防災、環境保全

特別の教科
道徳
との関連

3 他教科との連携

地理 **α** 目で見て情報を伝える言語

日本語や英語などの言語は声を使って話をしますが、目で見て情報を伝える手話も、言語の一つです。手話では、手の形や動き、顔の表情や上半身の動きを使いますが、その組み合わせ方には、ことばとしての規則があります。日本では、約6万人の話し手がいます。身のまわりに手話を使う人がいると自然に使えるようになりますが、そうでないときには、外国語と同じように、単語を覚えたり文法を学んだりして身につけます。

手話は、声を使わないので、言語として認識されない時代もありました。最近では、手話が日常的に使える社会になることをめざして、手話言語条例を制定する県や市町村が増えています。世界には、ニュージーランドのように、さらに進んで手話を公用語として認めている国もあります。世界では、300以上の手話が使われているといわれます。

公共施設に設置された「手話フォン」(2018年、兵庫県朝古市) 画面に写った係員と手話で話す。係員が通話相手に電話をつなぐしくみです。



教科書全体を通して、社会科ならではの道徳科と関連した教材を多数採用しています。なかでも、「社会参画、公共の精神」「国際理解、国際貢献」等については各所で扱っています。

UP 統計資料を活用する③
グラフのつくり方

グラフにはそれぞれ特色があるので、示したい内容に適した形のグラフを選びましょう。

棒グラフ → 数量を比べる。数量の変化を見る。
折れ線グラフ → 統計数値から棒グラフや折れ線グラフをつくと、数値どうしを比べたり、年ごとの変化を読み取ったりすることができます。

1. 年ごとの変化をあらわす場合、何年か始めて、何年ごとの数値を使うかを考える。
2. いちばん数値の大きいところを探して、縦軸の最大値を決める。
3. グラフをかく。

円グラフ → 割合を示す。割合を比べる。

人口と増えの速さ

| 年 | 人口 | 10年間の人口増加率 |
|-------|----------|------------|
| 1955年 | 11万8231人 | +38.2% |
| 1965年 | 16万3157人 | +41.2% |
| 1975年 | 23万346人 | +19.4% |
| 1985年 | 27万4938人 | +4.0% |
| 1995年 | 28万5419人 | -0.1% |
| 2005年 | 28万5419人 | -1.7% |
| 2015年 | 28万655人 | - |

グラフの縦軸の長さをのばすと、数値の増減を強調することができます。

伏見区の人口(国勢調査) 2015年(ほか)

10年間の人口増加率(国勢調査) 2015年(ほか)

↑P.133

数学
との関連

4 教科書内の連携

学習する単元が教科書全体の構成の中でどのように位置づけられているのかを把握して、**単元を見通し、地理を確実に学ぶ**ことができるよう工夫をしました。

第3編 第3章 日本の諸地域

3編3章では、日本の諸地域について学習します。1編で学習し、3編2章で分けた7つの地方区分に基づいて、九州地方から関東地方の順に、七つの「地方」を学習していきます。それぞれの地方でテーマを設定して、地方の地域的な特色を理解し、その地方にはどのような社会的課題があるかを見出し、その課題を追究していきます。

この章では、それぞれの地方にあらわれる特色について多角的・多面的に考察し、発見できるようにすることや、ほかの特色との関係も理解できるようにすることをめざします。

七つの地方の地域的な特色を追究するための「テーマ」

3編3章では、地方ごとに、その地方の特色を浮かび上がらせることのできる「テーマ」を設定して、地方の地域的な特色を追究していきます。これらの「テーマ」は、3編1章で使った五つの視点(→P.121)に対応しています。

また、それぞれの地方では、地方ごとに異なる「社会的課題」を見出し、追究していきます。

この教科書で設定している七つの地方のテーマと社会的課題

←P.163

この章で主に着目する見方・考え方

地域どうしのつながり 地域

各章の導入ページで、その章で主に着目する見方・考え方を示しています。 →本書 P.6-7

七つの地方の地域的な特色を追究するための「テーマ」

3編3章では、地方ごとに、その地方の特色を浮かび上がらせることのできる「テーマ」を設定して、地方の地域的な特色を追究していきます。これらの「テーマ」は、3編1章で使った五つの視点(→P.121)に対応しています。

また、それぞれの地方では、地方ごとに異なる「社会的課題」を見出し、追究していきます。


| 地方名 | 九州地方 | 中国・四国地方 | 近畿地方 | 中部地方 |
|-------|---------|------------|-------------|-----------|
| テーマ | 自然環境 | 人口や都市・村落 | 歴史的背景 | 産業 |
| 社会的課題 | 環境問題の克服 | 過疎地域の活性化 | 歴史的遺産と観光の両立 | 産業の競争力の維持 |
| 地方名 | 関東地方 | 東北地方 | 北海道地方 | |
| テーマ | 交通・通信 | 持続可能な社会づくり | 自然環境 | |
| 社会的課題 | 過密問題の解決 | 震災復興と地域づくり | 自然環境との共生 | |

この教科書で設定している七つの地方のテーマと社会的課題

2編2章(世界の諸地域)と3編3章(日本の諸地域)の章の導入ページにはこのような表を掲載しています。


教科書で
取り上げた
主な地域事例

中部地方

- 新潟県** 越後平野に広がる水田(弥彦村, P.214)
- 富山県** 広大なチューリップ畑(朝日町, P.207)
黒部ダム(立山町, P.215)
- 石川県** 伝統産業の新たな取り組み(輪島市・金沢市, P.215)
- 福井県** 北陸新幹線の建設工事(福井市, P.161)
眼鏡枠作り(鯖江市, P.207・215)
- 山梨県** ぶどうの収穫(甲州市, P.213)
- 長野県** 観光客でにぎわう上高地(松本市, P.207・213)
レタスの収穫(川上村, P.212)
- 岐阜県** 白川郷の合掌造り(白川村, P.206)
- 静岡県** 焼津港の漁業(焼津市, P.217)
- 愛知県** ハザードマップの使い方(北名古屋市, P.151)
ロケットを生産する工場と国産ジェット機の試験飛行(飛島村・豊山町, P.210) 
工場建設シミュレーション(知多半島, P.218-219)




北海道地方

- 北海道** さっぽろ雪まつり・大通公園(札幌市, P.248・249)
北海道の空の玄関口, 新千歳空港(千歳市, P.251)
十勝平野の畑作(帯広市, P.254-255) 
自然環境の視点からみた石狩平野の発展
(石狩市・苫小牧市・江別市・北広島市, P.260)




東北地方

- 青森県** りんごの収穫・弘前ねぶたまつり
(弘前市, P.235・240) 
白神山地(西目屋村, P.237)
「こみせ」のみられる街なみ(黒石市, P.241)
- 岩手県** 「釜石の奇跡」はなぜ起こったのか(釜石市, P.150)
三陸海岸・かきの養殖(田野畑村・大船渡市, P.235)
- 宮城県** 仙台七夕まつりで復興を願う折り鶴の前での合唱・SENDAI光
のページェント・杜の都, 仙台(仙台市, P.234・235・243)
震災からの復興・伝承(岩沼市・女川町・仙台市, P.244-245)
新しいまちづくりをめざして(東松島市, P.246)
- 秋田県** 東北地方の主な伝統的工芸品(大館市, P.241)
- 山形県** 庄内平野に広がる水田(鶴岡市, P.238)
鶴岡市で農場を営む小野寺さんの話(P.239)
- 福島県** 収穫された桃の選別と外国で販売される福島県産の桃
(福島市, P.235)




近畿地方

- 三重県** 三重県はどの地方?(P.21)/せまりくる巨大
地震にそなえて(伊賀市・紀北町, P.149)
松阪牛の飼育(松阪市, P.193) 
- 滋賀県** 琵琶湖の環境を未来の世代へ(P.197)
- 京都府** 地域調査の手法, 地域のあり方
(京都市, P.118-137・263-273)
京都の街なみ・文化(京都市, P.192・196-197)
- 大阪府** 千里ニュータウン(豊中市・吹田市, P.195)
関西国際空港・コリアタウン(泉佐野市・田尻町・泉南市・大阪市, P.199)
堺の工業の歴史(堺市, P.201)
百舌鳥・古市古墳群(堺市・羽曳野市・藤井寺市, P.203)
大阪・関西万博(大阪市, P.204)
- 兵庫県** 標準時子午線(明石市, P.14)/阪神・淡路大震災(P.144・199)
神戸市から阪神間の市街地(P.193・195)/神戸医療産業都市(神戸市, P.200)
水田の上を飛ぶコウノトリ・城崎温泉(豊岡市, P.202)
- 奈良県** 吉野山の桜・吉野の林業(吉野町・黒滝村, P.193・201)
奈良の歴史(P.197)/奈良市が修理費の一部を補助した町家(奈良市, P.203)
- 和歌山県** 飛び地の北山村(P.21)
みかんの収穫とオーストラリアに輸出する柿の選別(有田川町・九度山町, P.193)



関東地方

- 茨城県** 鹿島港と工業地域(鹿嶋市・神栖市, P.221)
筑波研究学園都市(つくば市, P.227)
- 栃木県** アフリカのフェアトレード商品を販売する店(宇都宮市, P.77)
中禅寺湖と男体山(日光市, P.220)
- 群馬県** インターネットを使った医師の遠隔診断(前橋市, P.161)
河岸段丘の発達した沼田市(P.220)/赤城山(前橋市, P.223)
多文化共生社会をめざして(大泉町, P.229)
- 埼玉県** 内陸型の工業地域(川越市・坂戸市・鶴ヶ島市, P.158)
- 千葉県** 温暖な気候を生かした花の栽培(南房総市, P.221)
- 東京都** 多くの言語が書かれた案内表示(調布市, P.38)
盛んになる文化交流(豊島区, P.56)
豊洲市場でのまぐろの競り(江東区, P.217)
東京オリンピック・パラリンピック(港区・中央区・品川区ほか, P.220・232)
荒川周辺の防災・スーパー堤防(江戸川区・江東区, P.230-231) 
地下調整池(杉並区・中野区, P.231)
- 神奈川県** 横浜港・みなとみらい21・京浜工業地帯(横浜市, P.160・227・228)




九州地方

- 福岡県** 九州地方最大の都市である福岡市(P.165)
九州北部豪雨による被害(朝倉市, P.169)
北九州市の工業(P.174-175)
- 佐賀県** 東経130度線(唐津市, P.8) 
- 長崎県** 大型客船などを建造中の造船所(長崎市, P.165)
グラバースカイロード(長崎市, P.268)
- 熊本県** 生まれ変わった水俣市(P.175)
- 大分県** 観光客でにぎわう湯布院(由布市, P.165)
九州地方の漁業(大分市, P.171)
- 宮崎県** 宮崎平野に広がるビニールハウス群(宮崎市, P.164)
高千穂郷・椎葉山地域(P.171)/プロ野球のキャンプ(日南市, P.176)
- 鹿児島県** 鹿児島市の市街地と桜島(P.164)/屋久島(P.167)
- 沖縄県** 自然環境を生かした南西諸島の観光業(P.172-173)
沖縄の基地と人々の生活(P.173)



中国・四国地方

- 鳥取県** 棚田オーナー制度(岩美町, P.189)
- 島根県** 「島留学」の見学会(海士町, P.188)
- 岡山県** 岡山市の中心部(P.178)
家具を作る会社の工房(西粟倉村, P.189)
- 広島県** 瀬の浦(福山市, P.181)
平和記念都市・広島市(P.183)
- 山口県** 萩の城下町(萩市, P.179)
- 徳島県** 京阪神大都市圏に向かう高速バス(鳴門市, P.185)
「葉っぱビジネス」による地域活性化(上勝町, P.187) 
- 香川県** ため池の多い讃岐平野(丸亀市, P.179)
- 愛媛県** しまなみ海道(今治市, P.178)
- 高知県** 四万十町次世代団地(P.186)
巨大地震にそなえる過疎地域の取り組み(P.190)



教科書検討の観点からみた特色

※青字の「⇒P.000」は教科書のページ数です。

| 教科書検討の観点 | 内容の特色 | 本書の主な関連箇所 |
|---|---|--------------------------------------|
| ⇒取り扱っている内容は、 教育基本法 に適合しているか。 教育基本法第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。 | 我が国の国土及び世界の諸地域に関する 基礎的・基本的な知識・技能 を確実に習得し、日本や世界の 地域的特色 を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしている。 ◆ 「2編2章 世界の諸地域」「3編3章 日本の諸地域」 では、州・地方の 地域的特色 を確実に捉えられる構成になっている。まず、① 州・地方を視覚的に捉え 、② 州・地方の概要を大観し 、そのうえで③ 主題学習・動態地誌的学習 を進め、④ 単元のふりかえり で主体的・対話的な問いや活動に取り組むことで、 単元全体で主体的・対話的で深い学びを実現 するようにしている。 ⇒ 2編2章（ヨーロッパ州／P.58-71 など）、3編3章（近畿地方／P.192-205 など） ◆ 地域的特色の理解に必要な教材を系統的に配置 するとともに、地図・写真・グラフなどの図版を豊富に掲載している。 | ⇒P.10-15 ⇒P.10-15, P.24-29 |
| 第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。 | 学習のねらいと 地理的な見方・考え方を明確 に示し、 思考力・判断力・表現力等の向上 を図りながら、 主体的・対話的で深い学びを実現 する構成となっている。 ◆本文ページには、 地理的な見方・考え方を示すコーナー や 思考力・判断力・表現力等の向上 を図るコーナーを設けて、生徒が意欲的に学習に取り組み、 主体的・対話的で深い学びを実現 するようにしている。 ◆ 世界や日本の人々の生活場面や労働の様子 を読み取ることができる 写真を多数掲載し、自主・自律の精神を養い、職業・生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養 えるようにしている。 | ⇒P.8-9, P.14-15 ⇒P.17,25, P.27,31 |
| 第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。 | 社会の形成に参画するための 学習活動を充実 するとともに、 協調して取り組む学習活動の場面 では、 責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身に付け、社会の一員としての自覚を培 えるようにしている。 ◆ 世界や日本の地域的特色を捉える際に、人権を考える教材を豊富に取り上げている。 ⇒P.39, 75, 199, 229, 267 など ◆ 「3編1章 地域調査の手法」「3編4章 地域のあり方」 では、 自分の言葉で表現し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させる ことができるようにしている。 ◆ 「3編4章 地域のあり方」 では、 地域の課題を見出し、地域の在り方を構想する具体例を紹介 することで、 社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養 えるようにしている。 | ⇒P.35 ⇒P.18-19 ⇒P.18-19 |
| 第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。 | 世界や日本、身近な地域における 環境問題や環境保全、持続可能な社会、災害・防災 といった諸課題の現状と改善に取り組む人々の努力について 考えさせる内容を随所に配し、生命や自然を大切に する態度を育てることができるようにしている。 ◆ グローバル化する国際社会において、持続可能な社会を作っていく上で取り組まなければならない様々な地球的課題や地域の課題（社会的課題） を取り上げている。 ⇒P.43, 163 ◆ 環境問題や環境保全、持続可能な社会について、系統立てて学習 できるようにしている。 ⇒P.66-67, 94-95, 104, 174-175, 262 など ◆ 災害・防災について系統立てて学習 できるようにしているとともに、 具体的かつ実践的な活動 を取り上げることで、 生命や安全の確保に主体的に取り組む ことができるようにしている。 ⇒P.132, 144-151, 190, 230-231, 244-247 など | ⇒P.12-13 ⇒P.27 ⇒P.20-21 |
| 第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。 | 我が国の 伝統と文化の特色 を広い視野に立って考え、我が国や身近な地域を愛する心を養えるようにしている。また、 国際理解を深める ことができる内容を豊富に取り上げ、 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する態度を育て ることができるようにしている。 ◆我が国における 伝統・文化の現状と、それを守り未来に継承していく人々の取り組み について、随所で取り上げている。また、 現代文化についても積極的に扱 っている。 ⇒P.172-173, 196-203, 225, 240-241, 253 など ◆ 世界の多様な文化の学習を通して、文化の意義や影響を理解し、多文化共生社会の重要性を認識 できるようにしている。 ⇒P.23-42, 55, 75, 90-91, 110-112 など ◆我が国と諸外国との関係、 国際協力、国際社会における支援、紛争解決や平和の希求 などの教材を豊富に取り上げている。 ⇒P.55, 70-71, 78-80, 173, 182-183 など ◆ 日本の領域についての学習 では、 日本固有の領土である北方領土・竹島の領土問題を的確に取り上げるとともに、日本固有の領土である尖閣諸島には領土問題は存在していないことを明記 している。また、 日本の領域をめぐる諸課題の解決に向けて、どのような取り組みが必要かを考えさせる内容 になっている。 ⇒P.16-19 | ⇒P.26 ⇒P.27,28 ⇒P.29 |
| ⇒取り扱っている内容は、 学校教育法 に適合しているか。 | ◆ 学校教育法第30条第2項に示された「基礎的な知識及び技能の習得」「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成」「主体的に学習に取り組む態度の育成」が重視 されている。 | ⇒P.6-21 |

教育基本法及び学校教育法との関連

| 教科書検討の観点 | 内容の特色 | 本書の主な関連箇所 | |
|------------|--|--|---|
| 学習指導要領との関連 | ⇒取り扱っている内容は、 学習指導要領 に示す目標・範囲に適合しているか。 | ◆ 学習指導要領に準拠し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり解決したりする思考力・判断力・表現力等の向上 を図る学習を通して、 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成 する内容になっている。 | ⇒P.6-21 |
| | ⇒ 道徳教育との関連 から、取り扱う内容はどのようになっているか。 | ◆ 教科書全体が個人の尊重の考え方を基本理念として構成 されており、 取り上げられている教材は、人権尊重・男女共同参画などの観点から適切に選択 されている。 ◆ 広い視野で考え、身近なところから課題を見出し、主体的・対話的な学び、地球的課題・地域の課題（社会的課題）の追究、「3編1章 地域調査の手法」「3編4章 地域のあり方」の学習 などを通じて 社会参画への関心や意欲を養い、持続可能な社会の形成に参画する態度を養 えるようにしている。 | ⇒P.35 ⇒P.18-19 |
| 創意と工夫 | ⇒ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。 | ◆本文は原則1授業時間＝見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのが 学習課題 で明確に示されている。また、右ページの側注欄には 確認コーナー が設けられ、 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 をねらいとした 学習活動や自分の考えを説明させる問い が提示されており、 習得した知識・技能を用いて文章化・言語化 できるようにしている。 ◆ 本文は 、十分な文字量を確保し、平易な表現で、 地理的事象や地理的概念を丁寧に記述 している。 ◆ 見方・考え方コーナー を設け、 学習課題の解決に向けての手がかりとなる地理的な見方・考え方の例 を示している。 ◆見開きページの右端に インデックス を設け、 学習している単元を常にわかるようにして、全体の中に位置づけて理解しながら、学習を進める ことができる。 ◆ 地理+α （コラム）や 自由研究 （特設ページ）では、 地理的分野の学習を掘り下げる具体的な内容 を取り上げて、 理解を深める ことができる。 ◆ スキルUP では、 地理的分野の学習に必要な地理的技能を6種類に整理し、生徒の発達段階に応じて系統立てて習得 できるようにしている。 ⇒P.VII, 25, 87, 122-125, 132-133 など ◆ 資料を用いた活動を示す資料活用コーナー を設けており、 必要な情報の読み取りなどの技能を高める ことができる。 ◆ 教科書内で関連する事項どうしを結び付ける参照ページコーナー で、 多面的・多角的な見方 をすることで、 学習内容の定着 を図っている。 ◆ 連携コーナー では、 小学校社会科の学習や歴史的分野・公民的分野の学習とのつながりが示され、生徒の理解を確かなものにする とともに、 習得した知識を活用 できるようにしている。 | ⇒P.8-9 ⇒P.8-9 ⇒P.6-7, P.8-9 ⇒P.8-9,32 ⇒P.8-9, P.17,29 ⇒P.16 ⇒P.8-9,16 |
| | ⇒ 思考力・判断力・表現力等の向上 を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。 | ◆ 学習課題 の理解を深めるため、 地理的な見方・考え方を働かせる問いを深めようコーナー として設け、 習得した知識を定着させ活用 させることで、 思考力・判断力・表現力等の向上 を図ることができる。 ◆ トライ、スキルUP、アクティビティ、チャレンジ地理 なども含めて、 毎時間、思考力・判断力・表現力等の向上を図る場面を設定し、随所で生徒が自分の言葉で表現 できるように構成されている。 ⇒P.5, 94-95, 122-125, 218-219, 261 など | ⇒P.8-9,14 ⇒P.14-15, P.16-17 |
| | ⇒ 学びに向かう力・人間性等 を養うために、どのような 創意・工夫 をしているか。 | ◆各章末や2編2章・3編3章各節末の 単元全体にかかわる問いや活動（○○州（○○地方）をふりかえる、アクティビティ、チャレンジ地理）、「3編1章 地域調査の手法」「3編4章 地域のあり方」 などで、 主体的に学習に取り組む態度、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力、互いのよさを生かして協働する力 などが培えるように構成されている。 | ⇒P.13,15, P.18-19 |
| | ⇒ 地理的な見方・考え方を習得・活用 するために、どのような 創意・工夫 をしているか。 | ◆ 教科書冒頭に「地理との出会い」 を設け、 地理的分野の学習に先立って地理的な見方・考え方をおおまかにつかむことのできるイラスト等 を掲載し、 五つの見方・考え方について丁寧に説明 している。 ⇒P.II-III ◆本文ページには 見方・考え方コーナー を設け、その見開きページでの 学習課題の解決に向けた手がかりとなる地理的な見方・考え方の例 を示している。 | ⇒P.6-7 ⇒P.8-9 |
| | ⇒ 地理的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学び を実現するために、どのような 創意・工夫 をしているか。 | ◆ 単元の学習における習得・活用・探究の学びの過程 のなかで、 地理的な見方・考え方を繰り返し働かせる ようになっている。例えば、 「2編2章 世界の諸地域」「3編3章 日本の諸地域」 では、 各見開きページにおいてそれぞれ適切な見方・考え方を働かせながら、州・地方の概要を大観し、そのうえで主題学習・動態地誌的学習を進め、最後に単元のふりかえりやアクティビティ、チャレンジ地理に取り組む ことで、 単元全体で主体的・対話的で深い学びを実現 するようにしている。 ⇒ アクティビティ（2編2章・3編3章各節末）、チャレンジ地理（P.70-71, 94-95, 151, 218-219） | ⇒P.10-15 |
| | ⇒図版は、 生徒の興味・関心 を喚起するもので、 かつ読み取りやすいもの に工夫されているか。 | ◆ 本文との関連が的確で、世界や日本の地域的特色を具体的にイメージ できる 地図・写真・グラフ・しくみ図等の図版が豊富に掲載 されている。特に 地図については、読み取りや比較のしやすい地図表現 を施すことで、 読図を容易 にしている。 ◆ 「2編2章 世界の諸地域」「3編3章 日本の諸地域」 においては、 各種の主題地図・雨温図を、体裁・配置・サイズを統一して掲載 することで、 地域的特色の理解・比較を容易 にしている。 ⇒P.164・166（九州地方）、192・194（近畿地方）、220・222（関東地方） など | ⇒P.10-13, P.33 ⇒P.10-11 |
| | ⇒今日の課題にかかわる内容は、どのように 選択 され 位置づけ られているか。 | ◆ 世界や日本の今日の課題について、生徒が主体的に考察 することができる 教材 を取り上げている。本文や写真などに加えて、 地理+α （コラム）や 自由研究 （特設ページ）で、 地理的分野の学習を掘り下げ、学習内容の理解を深めていく ことができる 最新の地理的トピックス を具体的に紹介している。 ⇒ 地理+α（P.79, 93, 183, 187, 255 など）、自由研究（P.56, 80, 104, 176, 260 など） | ⇒P.17, P.24-29 |

内容の選択

| 教科書検討の観点 | 内容の特色 | 本書の主な関連箇所 |
|--|--|----------------------------------|
| ⇒持続可能な社会、持続可能な開発目標 (SDGs) にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆持続可能な社会を実現するための諸課題を 地球的課題 や地域の課題（ 社会的課題 ）として取り上げ、諸課題を自らの問題として捉え、その解決をめざして行動できる態度を培うことができるように構成している。 ⇒P.66-67, 77, 94-95, 188-189, 258-259 など ◆「 3編3章 日本の諸地域 」の章末でSDGsの17の目標を示し、これまでの学習をSDGsの視点からふりかえるとともに、「 3編4章 地域のあり方 」で地域の課題を見出し、地域の在り方を構想することに備えることができる構成となっている。 ⇒P.262, 263-273 | ⇒P.12-13 ⇒P.18-19, P.27 |
| ⇒環境問題や環境保全にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆地球規模の環境問題や環境保全を 地球的課題 として取り上げるとともに、日本における環境問題や環境保全を地域の課題（ 社会的課題 ）として取り上げ、これらの諸課題を自らの問題として捉え、その解決をめざして行動できる態度を培うことができるように構成している。 ⇒P.66-67, 104, 174-175, 197, 258-259 など | ⇒P.12-13, P.27 |
| ⇒災害・防災にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆「 3編2章 日本の地域的特色と地域区分 」では、様々な災害や防災・減災（自助・共助・公助）について、体系的に詳しく学習することができる。また、具体的かつ実践的な活動を取り上げることで、 生命や安全の確保に主体的に取り組むことができるようにしている 。 ⇒P.144-151 ◆「 3編3章 日本の諸地域 」では、災害・防災に関する各地方の諸課題を学習することができるように構成している。 ⇒P.190, 199, 209, 230-231, 242-247 など | ⇒P.20-21 ⇒P.20-21 |
| ⇒伝統・文化にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆我が国における 伝統・文化の現状と、それを守り、未来に継承していく人々の思いや取り組み について、随所に写真、 地理+α （コラム）などを設定している。 ◆各地方に生きる人々の視点に立って、 各地に息づく文化を取り上げるとともに、現代文化についても積極的に取り上げている 。 ⇒P.172-173, 196-203, 225, 240-241, 253 など | ⇒P.26 ⇒P.26 |
| ⇒我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆我が国や諸外国の国旗について、そこに込められた人々の思いや、象徴として尊重され大切に扱われていることを明記している。 ⇒P.6-7 ◆日本の領域についての学習では、日本固有の領土である 北方領土・竹島の領土問題を的確に取り上げるとともに日本固有の領土である尖閣諸島には領土問題は存在していないことを明記している 。また、日本の領域をめぐる諸課題の解決に向けて、どのような取り組みが必要かを考えさせる内容になっている。 ⇒P.16-19 | ⇒P.29 |
| ⇒平和や国際理解にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆世界と日本の地域的特色の学習を通して、多文化共生社会の重要性を認識し、 我が国や郷土を愛する心情を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる内容 になっている。 ⇒P.55, 70-71, 78-80, 173, 182-183 など | ⇒P.28 |
| ⇒東京2020オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。 | ◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック及び2025年開催の大阪・関西万博について十分に取扱い っており、多文化共生社会や持続可能な社会について生徒の興味・関心を促すことができる。 ⇒ 東京2020オリンピック・パラリンピック (P.220, 232) 、 大阪・関西万博 (P.204) | ⇒P.10-13, P.24 |
| ⇒世界の諸地域学習、日本の諸地域学習は、どのような構成になっているか。 | ◆「 2編2章 世界の諸地域 」「 3編3章 日本の諸地域 」の構成を可能な限り統一しており、生徒の学習のしやすさに配慮している。 ◆最初の4ページで、州・地方を①写真等で視覚的に捉えて単元の導入とし、② 自然環境や人文環境の概要を大観 している。続く8ページで、州における 主題や地方における考察の仕方 をもとに、③ 主題学習・動態地誌的学習 を行い、地域的特色を追究している（一部の州では4ページ）。最後の2ページで、④ 単元のふりかえり を行い、学習を掘り下げる 自由研究 、学習のまとめにあたる ○○州（○○地方）をふりかえる に加えて、主体的・対話的な問いや活動である アクティビティ 、 チャレンジ地理 で様々なシンキングツールを取り上げている。このような構成とすることで、州・地方の 地域的特色を確実に捉え、単元全体で主体的・対話的で深い学びを実現する ようにしている。 ⇒ アジア州（最初の4ページ／P.44-47、続く8ページ／P.48-55、最後の2ページ／P.56-57） ⇒ 九州地方（最初の4ページ／P.164-167、続く8ページ／P.168-175、最後の2ページ／P.176-177） | ⇒P.10-13 ⇒P.10-15 |
| ⇒配列や分量は適切か。 | ◆配列は、学習指導要領の構成に合致した3編構成で、詳細な学習に陥ることのないよう、 学習内容の構造化と焦点化 を図っている。また、103時間の授業時数で学習が完結でき、学習指導要領が示す地理的分野の授業時数115時間からいって 妥当な分量 である。 | ⇒P.42 |
| ⇒小学校社会科との連携や、生徒の発達段階に対して、どのような配慮がなされているか。 | ◆小学校社会科との 連携コーナー を教科書の随所（本文ページ脚注部）に設けるとともに、各章の導入ページで 小学校で学習した内容 を示し、小学校社会科における地理的分野に関わる学習内容を、 学習した学年も含めて再確認 できる構成にしている。 ⇒ 連携コーナー（小学校社会科／P.140, 156 など） 、 小学校で学習した内容 (P.43, 119 など) ◆主体的・対話的な問いや活動である アクティビティ 、 チャレンジ地理 におけるシンキングツールの配列、地理的技能の習得のための スキルUP の配列は、 発達段階を考慮したもの となっている。 ◆教科書冒頭では、 トライ で生徒の興味・関心を高めながら 思考力・判断力・表現力等の向上 を図る活動をさせ、その後 資料活用 、 深めよう で徐々に 思考力・判断力・表現力等の内容を深めていく など、 発達段階を考慮した構成 としている。 | ⇒P.34-35 ⇒P.15,16 ⇒P.16-17 |

| 教科書検討の観点 | 内容の特色 | 本書の主な関連箇所 |
|---|---|--|
| ⇒歴史的分野や公民的分野との連携について、どのような配慮がなされているか。 | ◆歴史的分野・公民的分野との 連携コーナー を教科書の随所（本文ページ脚注部）に設けている。 歴史的分野との関連 では、地理的事象の歴史的背景を、歴史的分野との学習順序にも配慮しつつ確認できるようにしている。 公民的分野との関連 では、現代社会の諸課題等について、公民的分野の学習につなげていくことができるようになっている。 ⇒ 連携コーナー（歴史・公民／P.18, 74, 166, 198, 272 など） | ⇒P.34 |
| ⇒カリキュラム・マネジメントについて、どのような配慮がなされているか。 | ◆学校ごとの生徒の姿や地域の実情に合わせ選択・活用できるように 各種の教材が設けられている 。 ◆3編では、「 3編1章 地域調査の手法 」の調査結果を念頭に置きながら「 3編2章 日本の地域的特色と地域区分 」「 3編3章 日本の諸地域 」の学習を進め、その結果を踏まえて「 3編4章 地域のあり方 」で地域の課題を見出し、地域の在り方を構想する構成となっている。このような構成を取ることで、教科書の事例を参考にしながら、生徒の姿や地域の実情に応じた地誌学習や地域調査を進めることができるよう配慮している。 ◆「 3編1章 地域調査の手法 」（事例地域：京都市伏見区）と「 3編4章 地域のあり方 」（事例地域：京都市）は、 修学旅行の事前準備や当日の現地での活動など、教師や生徒が京都を訪れる際にも活用 することができる。 | ⇒P.24-29 ⇒P.18-19 ⇒P.18-19 |
| ⇒学習の深化と発展、生徒の家庭学習に対して、どのような配慮がなされているか。 | ◆ デジタルマーク を設け、発行者のウェブサイト上で公開している写真・動画や資料等の教材に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。 ⇒P.VII, 28, 44, 57, 140 など ◆ トライ 、 深めよう 、 資料活用 、 アクティビティ など、随所に問いや活動を設けて、生徒が 主体的に学習を行うための教材やシンキングツール 等を豊富に紹介している。 ◆各章末や2編2章・3編3章各節末には、 ○○州（○○地方）をふりかえる 、 アクティビティ といった単元全体にかかわる問いや活動を設け、 自学自習や自己評価 に対応している。 ◆巻末に 用語解説 を設け、 地理的用語を6種類に区分してわかりやすく解説 するとともに、その用語が 重要語句 になっているページを参照できるように工夫している。 ⇒P.280-283 | ⇒P.30-31 ⇒P.8-9,15, P.16-17 ⇒P.13,15 |
| ⇒文章および図版等の表現は正確か。 | ◆本文や地図・写真・グラフ・しくみ図等の図版類すべてにわたり、内容はもとより用語の一つ一つにも 細心の注意 を払うとともに、 きわめて正確かつ最新の資料 を選択している。 | ⇒P.8-9, P.24-29 |
| ⇒カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応や、表記・表現について、どのような工夫や配慮がなされているか。 | ◆ 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家 の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、配慮が行きわたっている。 ◆本文は、原則1授業時間＝見開き2ページとなっており、紙面は学習内容を理解しやすいように、 授業や生徒の思考の流れに即したレイアウト で構成されている。 ◆見開きページの右端には、 インデックス を設けて、 生徒が学習している単元を常に確認 できる工夫がなされている。 ◆文字は、 視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォント (UDフォント) を使用している。 ◆本文は 平易な文章 で、抽象的・網羅的な記述を避けて、 具体的に記述 している。 ◆漢字の使用は、細心の注意を払い、小学校6年生以上で学習する漢字や、固有名詞などは見開き2ページの初出にふりがなを付し、読みまちがいのおそれがあるものや地名・人名等については 教育漢字 であっても極力ふりがなを付し、読み取りやすくしている。 ◆ ふりがなは、大きめのゴシック体 を使っており、視認性を高める配慮をしている。 ◆ 重要語句は太字 にして、 全てふりがなが付 されている。また、学習上重要な語句は、複数の単元で必要に応じて 繰り返し重要語句 にして、 確実な習得 を図っている。 ◆図版には番号を付すと同時に、本文にも関連する図版番号を添えており、 本文と図版を関連して読み取らせる ようにしている。 ◆1編～3編4章の編・章ごとに 単元の色を統一 して示すことで、現在、学習している単元が常にかかるようになっている。 ◆地図・写真・グラフ・しくみ図等の図版類は、 カラーユニバーサルデザインに対応した配色 にするほか、 形や模様、線の種類 など、 色以外の情報でも識別 できるように配慮している。 | ⇒P.32-33, 裏表紙 ⇒P.8-9 ⇒P.9,32 ⇒P.32 ⇒P.6-9 ⇒P.32 ⇒P.32 ⇒P.32 ⇒P.32-33 ⇒P.32 ⇒P.33 |
| ⇒装丁にはどのような工夫がなされているか。 | ◆表紙の装丁は、地理的分野の学習内容を想起させる写真や教科書中に登場するキャラクターのイラストを配置し、 親しみやすく、かつ生徒の学習意欲を喚起するもの となっている。 | ⇒表紙 |
| ⇒大きさ・判型について | ◆見開きページの情報量を充実させるため、 ワイドなAB判 が採用されている。 | ⇒P.8-9 |
| ⇒耐久性や人や環境への配慮がなされているか。 | ◆製本は、 堅牢なあじろ綴じ を採用し、針金綴じよりも 大きく開き、かつ閉じにくい本 になっている。また、 良質で軽い紙 を使用して重量をおさえるとともに、 十分な強度で裏写りが少なくなる よう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工している。 ◆印刷は、 植物油インキ を使用している。また、製本には 化学物質過敏症の原因物質は使用せず、再生紙 を使用して 人体や環境への影響を少なく している。 | ⇒P.32 |
| ⇒拡大教科書について | ◆本文が18, 22, 26ポイントの3種類の 拡大教科書 の発行が予定されている。 | ⇒P.33 |
| ⇒デジタル教科書・教材について | ◆教科書と同一の内容を収録し、 拡大・リフロー 、 機械音声読み上げ 、 色の反転・配色設定 、 総ルビ表示 等の特別支援にも効果的な機能をもつ 学習者用デジタル教科書 や、 動画・アニメーション表示 などの豊富なコンテンツを収録した 指導者用デジタル教科書 (教材) 、 学習者用デジタル教科書+教材 の発行が予定されている。 | ⇒P.46-47 |

■ 学習指導要領との対照表・配当授業時数

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数 |
|---|----------------|--------------------|------|
| 地理との出会い—地理的な見方・考え方って?— 地理を学ぶにあたって | A～C | P.II-III P.VIII | 1 |
| 第1編 世界と日本の地域構成 | A (1) | P.1-22 | 10 |
| 第2編 第1章 世界各地の人々の生活と環境 | B (1) | P.23-42 | 8 |
| 第2編 第2章 世界の諸地域 | B (2) | P.43-117 | 26 |
| 1 アジア州—人口や経済発展をテーマに— ※ 章導入ページを含む | B (2) | P.43-57 | (5) |
| 2 ヨーロッパ州—国境をこえた統合をテーマに— ※ 「チャレンジ地理」を含む | B (2) | P.58-71 | (6) |
| 3 アフリカ州—自立のための開発と国際協力をテーマに— | B (2) | P.72-81 | (3) |
| 4 北アメリカ州—世界に影響をあたえる産業をテーマに— ※ 「チャレンジ地理」を含む | B (2) | P.82-95 | (6) |
| 5 南アメリカ州—開発と環境保全をテーマに— | B (2) | P.96-105 | (3) |
| 6 オセアニア州—多文化が共生する社会をテーマに— ※ 「世界の諸地域をふりかえろう」を含む | B (2) | P.106-117 | (3) |
| 第3編 第1章 地域調査の手法—京都市伏見区を例に— | C (1) | P.118-137 | 7 |
| 第3編 第2章 日本の地域的特色と地域区分 | C (2) | P.138-162 | 10 |
| 第3編 第3章 日本の諸地域 | C (3) | P.163-262 | 36 |
| 1 九州地方—自然環境をテーマに— ※ 章導入ページを含む | C (3) | P.163-177 | (5) |
| 2 中国・四国地方—人口や都市・村落をテーマに— | C (3) | P.178-191 | (5) |
| 3 近畿地方—歴史的背景をテーマに— | C (3) | P.192-205 | (5) |
| 4 中部地方—産業をテーマに— ※ 「チャレンジ地理」を含む | C (3) | P.206-219 | (6) |
| 5 関東地方—交通・通信をテーマに— | C (3) | P.220-233 | (5) |
| 6 東北地方—持続可能な社会づくりをテーマに— | C (3) | P.234-247 | (5) |
| 7 北海道地方—自然環境をテーマに— ※ 「日本の諸地域をふりかえろう」を含む | C (3) | P.248-262 | (5) |
| 第3編 第4章 地域のあり方—京都市を例に— | C (4) | P.263-273 | 5 |
| | (※ 予備時間：12 時間) | 合計 | 103 |

※ 「チャレンジ地理」には、1 時間を配当しています。

※ 予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

■ 観点別教材一覧

1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|-------|-----------------------|---|---|-----------|------------------------|
| 2 | 1 | P.39 | 目で見て情報を伝える言語 (手話) | 3 | 3 | P.229 | 多文化共生社会をめざして (大泉町) |
| 2 | 2 | P.75 | 南アフリカ共和国の変化 (アパルトヘイト) | 3 | 4 | P.253 | 日本の先住民族であるアイヌ民族 |
| | | P.85 | 北アメリカに住む人々 (多民族国家) | | | P.264-272 | 自然と防災班 (京都市, 高齢者・障がい者) |
| | | P.111 | ニュージーランドの三つの公用語 (手話) | | | P.265-273 | 交通と観光班 (京都市, 外国人観光客) |
| 3 | 3 | P.199 | 世界とつながる大阪 (コリアタウン) | | | P.267 | 視覚障がい者施設の話 (京都市) |

2. 平和・国際理解にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|---------|-----------------------|---|---|-------|-------------------------|
| 2 | 1 | P.23-42 | 世界各地の人々の生活と環境 | 2 | 2 | P.80 | アフリカの紛争と私たち |
| 2 | 2 | P.55 | くり返される紛争 (西アジア・中央アジア) | 3 | 3 | P.173 | 沖縄の基地と人々の生活 |
| | | P.70-71 | イギリスの EU 離脱問題を考えよう | | | P.183 | 平和記念都市・広島市 |
| | | P.79 | さまざまな国際協力の試み (アフリカ) | | | P.232 | オリンピック・パラリンピックからみる東京の変化 |

3. 伝統・文化にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|-----------|--------------------------|---|---|-----------|------------------------------|
| 2 | 2 | P.56 | 東アジア文化都市 (豊島区) | 3 | 3 | P.202-203 | 歴史的な街なみの保存 (京都・奈良) |
| 3 | 3 | P.172 | 沖縄の歴史と独自の文化 | | | P.203 | 百舌鳥・古市古墳群 (大阪) |
| | | P.181 | 港町として栄えた瀬の浦 (福山市) | | | P.225 | 世界が目撃! 日本の都市文化 (関東地方) |
| | | P.196-197 | 千年の歴史をもつ京都 日本の歴史のふもと, 奈良 | | | P.240-241 | 伝統文化の維持と革新 (弘前市・黒石市など) |
| | | P.200-201 | 伝統産業の取り組み (近畿地方) | 3 | 4 | P.265-273 | 資源と産業班, 交通と観光班, 伝統と文化班 (京都市) |

4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|---------|-------------------|---|---|---------|------------------------------|
| 1 | - | P.6 | オリンピックで掲げられる日本の国旗 | 1 | - | P.18-19 | 日本の領域をめぐる問題 (北方領土, 竹島, 尖閣諸島) |
| | | P.16-17 | 日本の領域の特色 | | | | |
| | | P.17 | 沖ノ鳥島を守るために | | | | |
| 2 | 1 | P.41 | 伊勢神宮の初詣 | | | | |

5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|-----------|------------------------------------|---|---|-----------|---------------------------------|
| 2 | 2 | P.66-67 | LRT, リサイクル, 再生可能エネルギー, 酸性雨 (ヨーロッパ) | 3 | 3 | P.173 | 環境保全と観光の両立をめざして (沖縄県) |
| | | P.77 | 広がるフェアトレード (アフリカ) | | | P.174-175 | 北九州工業地帯, 水俣市 |
| | | P.94-95 | 持続可能な社会をつくるために (アメリカ) | | | P.188-189 | 豊かな魅力を生かした地域活性化 (中国・四国地方) |
| | | P.102-103 | 熱帯雨林, バイオ燃料 (南アメリカ) | | | P.197 | 琵琶湖の環境を未来の世代へ |
| | | P.104 | 地球温暖化を防ぐために (南アメリカ) | | | P.204 | 大阪・関西万博が開かれる大阪市の湾岸部 |
| | | P.112-113 | 地球温暖化による海面上昇 (オセアニア) | | | P.258-259 | とる漁業から育てる漁業へ, 環境保全に配慮した観光 (北海道) |
| | | P.116 | 生態系, オゾンホール (北極・南極) | | | P.262 | 持続可能な開発目標 (SDGs) |

6. 防災・安全にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|-----------|------------------------|---|---|-----------|----------------------|
| 3 | 1 | P.121-136 | 自然と防災班 (京都市伏見区) | 3 | 3 | P.199 | 阪神・淡路大震災 |
| | | P.132 | ハザードマップ (京都市伏見区) | | | P.209 | 水とつき合う地域の知恵 (濃尾平野) |
| 3 | 2 | P.144-145 | 地震・火山災害, 地震・津波が起きるしくみ | | | P.230-231 | 都市問題の解決に向けて (関東地方) |
| | | P.146-147 | 気象災害, ヒートアイランド現象, 集中豪雨 | | | P.234-247 | 東日本大震災 |
| | | P.148-149 | 防災・減災, 自助・共助・公助 | | | P.244-245 | 震災からの復興と災害に強い地域づくり |
| | | P.150-151 | 釜石の奇跡, ハザードマップ (北名古屋) | | | P.246 | 新しいまちづくりをめざして (東松島市) |
| 3 | 3 | P.190 | 巨大地震にそなえる取り組み (高知県) | 3 | 4 | P.264-272 | 自然と防災班 (京都市) |

7. 情報にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|-----------|------------------|---|---|-----------|-------------------|
| 2 | 1 | P.26 | 雨温図の読み取り方 | 3 | 1 | P.124 | デジタル地図にふれてみよう |
| 2 | 2 | P.47・51 | グラフの読み取り方 | | | P.132-133 | 地図のつくり方, グラフのつくり方 |
| 3 | 1 | P.118-137 | 地域調査の手法 (京都市伏見区) | 3 | 4 | P.263-273 | 地域のあり方 (京都市) |

8. 社会参画にかかわる教材

| 編 | 章 | ページ | 項目 | 編 | 章 | ページ | 項目 |
|---|---|-----------|---------------------|---|---|-----------|-------------------|
| 3 | 2 | P.148-149 | 防災・減災, 自助・共助・公助 | 3 | 3 | P.262 | 持続可能な開発目標 (SDGs) |
| 3 | 3 | P.233 | 東京への一極集中について考えよう | | | P.263-273 | 地域のあり方 (京都市) |
| | | P.247 | 持続可能な社会をめざして (東北地方) | | | P.272-273 | まちづくり会議を開こう (京都市) |

教師用指導書は、「学習指導編」、「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集(CD-ROM)」から構成されます。

学習指導編

| | |
|--------------|--|
| 総論編 | 学習指導要領と教科書の対応などを解説した論考や、学習指導計画作成資料などを掲載しています。 |
| 学習指導編 | 毎時の展開例・板書例・内容の解説(「資料活用」「深めよう」「確認」などの解答例・手立てを含む)などを掲載しています。 |

板書例

授業の際に参考になる板書例を掲載しています。

| | | |
|---|--|---|
| 教科書 P.184~185 ワークシート/別冊P.73 | | |
| 2 中国・四国地方—人口や都市・村落をテーマに— / 1 2 3 4 5 | | |
| 3 都市部や農村部を結ぶ交通網 | | |
| 本時の視点 | 評価規準例 | |
| 中国・四国地方の各地域の交通網がどのように整備されたか、交通網の整備により地域の生活にどのような変化が生じたのかなどについて、 「地域どうしのつながり」 の「見方・考え方」から考察し、交通網の特色や変化の原因などをとらえさせる。 | 中国・四国地方の各地域に整備された交通網により、それぞれ結ばれている都市やルートなどを理解することができる。 | |
| 本時のねらい | 知識・技能【知】 | |
| ●中国・四国地方の各地域の交通網がどのように整備されているのかを理解することができる。 | 中国・四国地方の各地域に整備された交通網により、それぞれ結ばれている都市やルートなどを理解することができる。 | |
| ●中国・四国地方の交通網の整備が、人口の変化や地域社会にどのような影響を及ぼしているのかを考察し、表現することができる。 | 思考・判断・表現【思】 | |
| | 交通網の整備により地域社会に生じた変化とその原因を、成果と課題の両面から考え表現している。 | |
| 本時の展開 | | |
| 導入 | 展開 | まとめ |
| ◇交通網による結び付きのようすを知る。 ◇国1から国4による中国地方と四国地方の結び付きのようすを知る。 ◇生徒の吹き出しを活用する。 | ◇結びついている都市やルートをおさえる。 ◇瀬戸大橋は高速道路と鉄道の二段構造であることを知る。 ◇開通以前、人々は瀬戸内海を船で行き来していたことをおさえる。 | ◇ワークシートの記述や発問内容から、交通網の整備により地域社会が変化したことについて、 「地域どうしのつながり」 の「見方・考え方」から考察し、交通網の特色や変化の原因などをとらえさせる。 |
| ◇中国・四国地方の交通網の整備が、人口の変化や地域社会にどのような影響を及ぼしているのかを考察し、表現することができる。 | ◇中国・四国地方の交通網の整備が、人口の変化や地域社会にどのような影響を及ぼしているのかを考察し、表現することができる。 | ◇中国・四国地方の交通網の整備が、人口の変化や地域社会にどのような影響を及ぼしているのかを考察し、表現することができる。 |

本時の展開

教科書の展開に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点、評価などを、使いやすい指導案の形で例示しています。「見方・考え方」を授業でどう扱うかについても提案しています。

解答例・手立て

教科書の中に出てくる問いの解答例や、指導の手立てを示しています。

| | |
|---|--|
| 第3編第3章 日本の諸地域 | |
| 板書例 | 内容の解説 |
| ◆中国・四国地方の交通網の整備は、人々の生活をどのように変化したのでしょうか。 | 瀬戸大橋は、見島—取島ルートにある複数の橋梁の総称である。1988年開通で、橋梁長の合計は7kmを超える。鉄道道路併用橋で、上段を瀬戸中央自動車道、下段をJR四国の本四備讃線(瀬戸大橋線)が通っている。 |
| ○高速道路の整備と本州四国連絡橋の開通 | ○南北方向の整備の変化 |
| ・東西方向—中国自動車道 山陽自動車道など | ・短時間で安定した移動、輸送ができるように |
| ・南北方向—本州四国連絡橋やその他の自動車道 | ・人やものの行き来が広範囲に |
| 明石海峡大橋・大瀬戸橋 | 交通網の整備によるマイナス面も生まれる |
| 瀬戸大橋 | 連絡船やフェリーの廃止→移動が不便に |
| しまなみ海道 | 買い物客の流出→地元商業の衰退 |
| (東西方向の整備の変化) | 人口流出の加速→過疎化の進行 など |
| ・人やものの行き来がしやすくなり、工業団地や住宅地が建設され、工業が発達 | |
| 解答例・手立て | |
| P.184 図2 | 岡山県津山市には、6つの工業団地があり、パナソニックの子会社など、205の製造業の事業所が進出している(2015年)。岡山県津山市には、トステム、大正製薬、タリナップなどの事業所がある。 |
| P.184 本文14行目 瀬戸内海をわたる旅客船 | 岡山県宇野港と香川縣高松港間をかつて国鉄の運送による宇高連絡船が運航していた。瀬戸大橋開通により、自動車での移動で港と駅での乗り換えが必要となり、利用者は減少の一途をたどり、1988年4月に廃止された。 |
| P.185 図3 | 中国自動車道は、中国地方の中央部を東西に通るルートで1983年に全線開通した。総延長は500km以上で、自動車道の中では日本で2番目に長い。それに並行するように山陽自動車道が1982年から次々と開通した。この路線の大半は山陽新幹線と |

ワークシート・評価問題編

ワークシート編

教科書に準拠した、学習指導編の展開例の内容に対応するワークシートを掲載します。※解答例入りの赤刷りは、デジタルデータ集(CD-ROM)に収録しています。

評価問題編

単元ごとに作成した「評価問題例」と「評価問題例の解説」を掲載しており、定期テストなどでの問題作成の参考となるようにしています。

評価問題例

知識・技能等を評価する問題や思考力・判断力・表現力等を評価する問題をバランスよく設定しています。特に思考力・判断力・表現力等を評価する問題については、様々な地理的思考を働かせて解答する問題を設定するなどの工夫をしています。

評価問題例の解説

解答例のほか、A判定の生徒に対する更なる課題や、誤答箇所別対応などのその後の指導方法も提案しています。

デジタルデータ集(CD-ROM)

教科書収録データ

1 教科書紙面データ集

(総ルビ付きPDFも収録)

電子黒板など提示型ICT機器を利用して、授業に活用できるように、教科書全ページの紙面をPDF形式で収録しています。

2 教科書本文テキスト

教科書の本文・コラムなどのテキストデータを収録しています。

3 教科書図版データ集

プリントやテスト作成の際に活用できるように、教科書図版をモノクロ化して収録しています。

付録データ

4 学習指導計画案

評価規準の参考事例となる学習指導計画作成資料を収録しています。

5 ワークシート

解答例なし・解答例入りの2種類を収録しています。

6 白地図

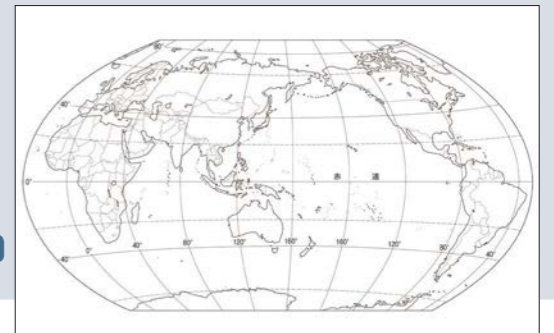
日本全国図・各地方図・世界全国図・各州図など

| | |
|---|--|
| ワークシートNo.68 | |
| 第3編第3章 日本の諸地域 2 中国・四国地方—人口や都市・村落をテーマに— | |
| 3 都市部や農村部を結ぶ交通網 | |
| 教科書 P.184~185 | |
| 年 組 番 名 前 | 学習日 年 月 日 |
| 学習課題 | 中国・四国地方の交通網の整備は、人々の生活をどのように変化したのでしょうか。 |
| 1 次の問いに答えよう。 | ①中国・四国地方を東西に通る高速道路のうち、山陽部を走る中国自動車道が先に建設された理由を書こう。 |
| 解答例 | 過疎地域を活性化するため。 |
| ②教科書P.185図3を見て、本州四国連絡橋の三つのルートを書こう。 | 見島—取島 ルート 神戸—明門 ルート 尾道—今治 ルート |
| ③本州四国連絡橋の開通後、本州と四国地方のあいだの移動者が利用する交通手段である「フェリー・旅客船」「高速バス」の利用者数は、どのように変化したか、簡単にまとめよう。 | フェリー・旅客船 解答例:三つのルートが開通した直後に、利用者が大きく減少した。 高速バス 解答例:三つのルートが開通していきにしたがって、利用者が増加している。 |
| 2 次の問いに答えよう。 | ①次の文の()にあてはまる言葉を答え、高速道路や本州四国連絡橋が建設されたことによる成果をまとめよう。 ・中国自動車道沿いの市町村では、(ア 工業団地)がつくられて工業が盛んになったところもある。 ・本州四国連絡橋の建設によって、岡山市と高松市のあいだでは(イ 通勤)・通学する人が増えた。(ウ 京阪神)大都市圏と四国地方を結ぶ(エ 高速バス)の路線が充実し、(オ 観光)客が増加した。 |
| ②次の文の()にあてはまる言葉を答え、高速道路や本州四国連絡橋が建設されたことによる課題をまとめよう。 ・交通が便利になったことで、(ア 人口)の流出が加速して(イ 過疎)化が進んだ。 ・四国地方の買い物客が(ウ 大阪)市や神戸市に出かけやすくなって、地元の(エ 商業)がおとろえた。 | |

1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり

中部の平地と南北の山地 近畿地方は、地形によって北部・中部・南部に分けられます。中部には大阪平野が広がっています。大阪湾にそそぐ淀川や大和川の上流には、日本最大の湖の琵琶湖がある近江盆地や、京都盆地、奈良盆地があります。瀬戸内海には淡路島が浮かび、沿岸には播磨平野が広がっています。伊勢湾の沿岸には伊勢平野があります。北部と南部には、山地が広がっています。北部には丹波高地などのなだらかな山地が続いています。南部の紀伊半島には、紀ノ川(吉野川)から志摩半島にかけて、中央構造線という巨大な断層があり、

↑ 1 教科書紙面データ集 総ルビ付きPDF



→ 6 白地図

●学習者用デジタル教科書

生徒一人一人に個別に最適化された学びをサポートします！

日本文教出版は、「学校教育法等の一部を改正する法律」の公布を受けて制度化された、**学習者用デジタル教科書**を発売します。

この学習者用デジタル教科書は、学校教育法において規定された基準において、必要に応じて紙の**教科書に代えて**利用することができます。



↑教科書 P.194-195

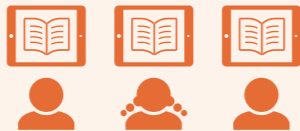
デジタル教科書って何？

ポイント①



紙の教科書と同一の内容を収録しており、紙の教科書と併用して使用することができます。

ポイント②



基本的に生徒一人一人が、個々の端末で利用します。

ポイント③

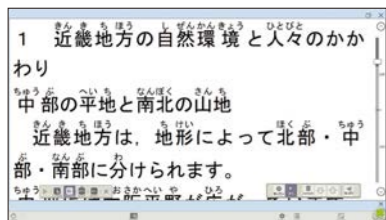


紙面の拡大や書き込みなど、ICT教材ならではの機能が活用できます。

学びを助ける機能の充実

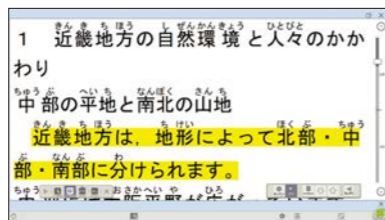
充実した機能は、特別な配慮を必要とする生徒の学習も支援します。

リフロー・総ルビ表示



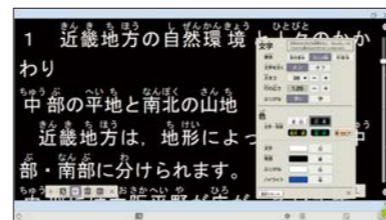
文字の大きさや行間を調整する**リフロー表示**が可能です。また、すべての漢字にルビ(ふりがな)を表示する**総ルビ表示**にも対応しています。

機械音声読み上げ



機械音声による**読み上げ機能**が搭載されています。読み上げ速度の変更や読み上げる箇所を**ハイライト表示**することも可能です。

背景色・文字色等の変更



背景色や文字色、書体や行間などを変更することが可能です。

●指導者用デジタル教科書(教材)

学習者用デジタル教科書とは別に、**指導者用デジタル教科書(教材)**も発売します。**動画やスライドショーなどのコンテンツ**を通して、内容理解をより深めることができます。



教科書紙面とコンテンツが一体化しており、授業をサポートする指導者用教材です。

豊富なコンテンツで生徒の理解を助けます

コンテンツ例①

地図の重ね合わせ 「1 近畿地方の地形と2 近畿地方の人口密度を重ね合わせる」

紙の教科書に載っている複数の地図を重ね合わせることができます。

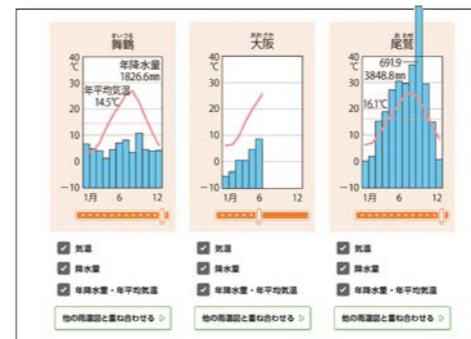


←教科書 P.194

コンテンツ例③

雨温図の重ね合わせ 「3 近畿地方各地の雨温図」

様々な都市の雨温図と重ね合わせることができます。



←教科書 P.194

コンテンツ例②

スキルUPの解説

「グラフの作り方」



スライドショーでの解説と作業学習を組み合わせることで学習効果を高めます。

←教科書 P.133

その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単独拡大」
- ・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
- ・興味・関心を引き出す「アニメーション」など

●学習者用デジタル教科書+教材

学習者用のコンテンツを収録した教材です。生徒一人一人が**個々の端末**で利用することを想定しています。



●各種商品情報

「学習者用デジタル教科書」
「指導者用デジタル教科書(教材)」
「学習者用デジタル教科書+教材」
発売：令和3(2021)年3月 予定 / 価格：未定



動作環境：Microsoft Windows10/8.1、iOS11/12 (iPad)・iPadOS13、Google Chrome OS
※表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。
※本ソフトウェアは開発中のため、本記事の内容および仕様は予告なく変更する場合があります。

体験版のご案内

弊社ウェブサイトにて、ウェブブラウザ上で動作する各種商品の体験版を公開しています。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。

🔍 日文 デジタルサポート 🔍 検索